


Dell™ Inspiron™ 700m


# オーナーズマニュアル


モデル P907S

[www.dell.com](http://www.dell.com) | [support.dell.com](http://support.dell.com)

## メモ、注意、警告

 **メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告**：物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示します。

## 略語について

略語の一覧表は、Dell Inspiron『ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、10 ページを参照してください。

Dell™ n シリーズコンピュータをご購入いただいた場合、このマニュアルの Microsoft® Windows® オペレーティングシステムについての説明は適用されません。

---

**この文書の情報は、事前の通知なく変更されることがあります。**

**© 2004 すべての著作権は Dell Inc. にあります。**

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL のロゴ、Inspiron、Dell Precision、Dell Travelite、Dimension、OptiPlex、Latitude、TrueMobile、DellNet、PowerApp、PowerEdge、PowerConnect、PowerVault、および Axim は Dell Inc. の商標です。Intel、Pentium、および Celeron は Intel Corporation の登録商標です。Microsoft、Windows、および Outlook は Microsoft Corporation の登録商標です。EMC は EMC Corporation の登録商標です。Bluetooth は Bluetooth SIG, Inc. の商標で、Dell Inc. が使用権を所有します。

本書では、必要に応じて上記記載以外の商標および会社名が使用されている場合がありますが、これらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に所属するものではありません。

モデル PP07S

2004 年 6 月

P/N F5315

Rev. A00

# 目次

情報の検索方法	9
1 コンピュータの各部	
正面図	13
左側面図	16
右側面図	18
底面図	20
2 コンピュータのセットアップ	
インターネットへの接続	21
インターネット接続のセットアップ	21
情報を新しいコンピュータに転送する	22
プリンタのセットアップ	23
プリンタケーブル	23
USB プリンタの接続	24
電源保護装置	24
サージプロテクタ	24
ラインコンディショナ	25
無停電電源装置 (UPS)	25
3 バッテリーの使い方	
バッテリーの性能	27
バッテリーの充電チェック	28
Microsoft Windows 電源メーター	28
バッテリーの低下を知らせる警告	28
バッテリーの充電	28
バッテリーの取り外し	29
バッテリーの取り付け	29
バッテリーの保管	29

4	モジュールベイデバイスの取り付け	
	モジュールベイについて	31
	コンピュータが停止中の場合のデバイスの取り外しと 取り付け	31
	コンピュータが実行中の場合のデバイスの取り外しと 取り付け	32
5	CD、DVD、およびその他のマルチメディアの使い方	
	CD および DVD の使い方	33
	CD および DVD のコピー	33
	CD または DVD のコピーの仕方	33
	空の CD-R および CD-RW の使い方	34
	便利なヒント	34
	テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続	35
	S ビデオ接続	35
	テレビの表示設定の有効化	36
6	キーボードとタッチパッドの使い方	
	テンキーパッド	37
	キーの組み合わせ	38
	システム関連	38
	ディスプレイ関連	38
	無線通信（ワイヤレスネットワークを含む）	38
	電力の管理	38
	スピーカー関連	38
	Microsoft® Windows® ログキー関連	38
	タッチパッド	39
	タッチパッドのカスタマイズ	40
7	PC カードの使い方	
	PC カードのタイプ	41
	PC カードのダミーカード	41
	拡張 PC カード	41
	PC カードまたはダミーカードの取り外し	41
	PC カードの取り付け	43

8	家庭用および企業用ネットワークのセットアップ	
	<b>ネットワークアダプタへの接続</b> . . . . .	45
	<b>ネットワークセットアップウィザード</b> . . . . .	46
	<b>ワイヤレス LAN (ローカルエリアネットワーク) への接続</b> . . . . .	46
	ネットワークタイプの判断 . . . . .	46
	Microsoft® Windows® XP でのワイヤレスネットワークへの接続 . . . . .	47
	セキュリティの設定 (オプション) . . . . .	48
9	問題の解決	
	<b>Dell Diagnostics (診断) プログラム</b> . . . . .	51
	Dell Diagnostics (診断) プログラムを使用する場合 . . . . .	51
	<b>ドライバ</b> . . . . .	54
	ドライバとは? . . . . .	54
	ドライバの識別 . . . . .	54
	ドライバとユーティリティの再インストール . . . . .	54
	<b>ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決</b> . . . . .	56
	<b>Microsoft® Windows® XP システムの復元</b> . . . . .	56
	復元ポイントの作成 . . . . .	57
	コンピュータを以前の動作状態に復元する . . . . .	57
	最後のシステムの復元を元に戻す . . . . .	58
	<b>Microsoft® Windows® XP の再インストール</b> . . . . .	58
	はじめに . . . . .	58
	Windows XP の再インストール . . . . .	59
	<b>ドライブの問題</b> . . . . .	60
	CD および DVD ドライブの問題 . . . . .	61
	CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが 取り出せない場合 . . . . .	62
	聞き慣れない摩擦音またはぎしむ音がする場合 . . . . .	62
	ハードドライブの問題 . . . . .	62
	<b>E-メール、モデム、およびインターネットの問題</b> . . . . .	62
	<b>エラーメッセージ</b> . . . . .	63
	<b>IEEE 1394 デバイスの問題</b> . . . . .	65
	<b>キーボードの問題</b> . . . . .	65
	外付けキーボードの問題 . . . . .	65
	入力時の問題 . . . . .	66
	<b>ロックアップおよびソフトウェアの問題</b> . . . . .	66
	コンピュータが起動しない . . . . .	66
	コンピュータの応答が停止した . . . . .	66

プログラムの応答が停止した	66
プログラムが繰り返しクラッシュする	67
プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム用に設計されている	67
画面が青色（ブルースクリーン）になった	67
その他のソフトウェアの問題	67
<b>メモリの問題</b>	<b>68</b>
<b>ネットワークの問題</b>	<b>68</b>
<b>PC カードの問題</b>	<b>69</b>
<b>電源の問題</b>	<b>69</b>
コンピュータへの十分な電力の確保	70
<b>プリンタの問題</b>	<b>70</b>
<b>スキャナーの問題</b>	<b>71</b>
<b>サウンドおよびスピーカーの問題</b>	<b>72</b>
内蔵スピーカーから音が出ない場合	72
外付けスピーカーから音が出ない場合	72
ヘッドフォンから音が出ない場合	73
<b>タッチパッドまたはマウスの問題</b>	<b>73</b>
<b>ビデオおよびディスプレイの問題</b>	<b>74</b>
画面に何も表示されない場合	74
画面が見づらい場合	74
画面の一部しか表示されない場合	75

## 10 部品の拡張および交換

<b>はじめに</b>	<b>77</b>
奨励するツール	77
コンピュータの電源を切る	77
コンピュータ内部の作業を始める前に	77
<b>メモリ</b>	<b>79</b>
<b>モデム</b>	<b>81</b>
<b>ミニ PCI カード</b>	<b>82</b>

## 11 付録

<b>仕様</b>	<b>87</b>
<b>セットアップユーティリティの使い方</b>	<b>92</b>
概要	92

セットアップユーティリティ画面の表示 . . . . .	93
セットアップユーティリティ画面 . . . . .	93
通常使用するオプション . . . . .	93
<b>    デルへのお問い合わせ . . . . .</b>	<b>94</b>
索引 . . . . .	97





## 情報の検索方法

### 何をお探しですか？

- チュートリアルおよびその他の情報にアクセスする方法
- 請求明細書を入手する方法
- 追加マニュアル、ツール、トラブルシューティング、オンラインサポートリソースへのリンク

### こちらをご覧ください

Dell Solution Center



Windows デスクトップ

- コンピュータの診断プログラム
- コンピュータのドライバ

### Drivers and Utilities CD (ResourceCD と呼ばれます)

ドライバは、本コンピュータにすでにインストールされています。CD を使用して、ドライバを再インストールしたり (54 ページを参照)、Dell Diagnostics (診断) プログラム (51 ページを参照) やマニュアルにアクセスできます。この CD は、将来使用するときのために安全な場所に保管してください。



CD 内に **Readme** ファイルが含まれている場合があります。この **Readme** ファイルには、コンピュータの技術的変更に関する最新のアップデートや、技術者または専門知識をお持ちのユーザーを対象とした高度な技術資料を参照できます。

**メモ**：利用可能なドライバおよび最新のマニュアルのアップデート版は [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) で入手いただけます。

- プリンタのセットアップ方法
- コンピュータのセットアップに関する追加情報
- トラブルシューティングおよび問題解決の方法
- 部品の取り外しおよび取り付け方法
- 仕様
- デルへの問い合わせ方法

### Inspiron オーナーズマニュアル



**メモ**：このマニュアルは、PDF 形式のものをウェブサイト ([support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com)) でご覧いただけます。

---

**何をお探しですか？**

- 安全にお使いいただくための注意
- 認可機関の情報
- 作業姿勢に関する情報
- エンドユーザーライセンス契約

**こちらをご覧ください**
**Dell™ 製品情報ガイド**


- コンピュータのセットアップ方法

**セットアップ図**


- Microsoft® Windows® の使用に関するヒント
- CD および DVD の使用方法
- スタンバイモードおよび休止状態モードの使用法
- 画面解像度の変更方法
- コンピュータのクリーニング方法

**Dell Inspiron ヘルプファイル**

- 1 スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 ユーザーズガイドおよびシステムガイド** をクリックして、**ユーザーズガイド** をクリックします。
- 3 Dell Inspiron ヘルプ** をクリックします。

---

## 何をお探しですか？

- サービスタグとエクスプレスサービスコード
- Microsoft Windows ライセンスラベル

## こちらをご覧ください

サービスタグおよび Microsoft Windows ライセンスラベルはお使いのコンピュータの底面に貼られています。



• サービスタグは、**support.jp.dell.com** をご使用の際、またはテクニカルサポートへのお問い合わせの際に、コンピュータの識別に使用し

ます。

- エクスプレスサービスコードを利用すると、テクニカルサポートに直接電話で問い合わせることができます。エクスプレスサービスコードは、国によって利用できないことがあります。

- 
- コンピュータ用のドライバ
  - テクニカルサービスおよびサポートに関する質問の回答
  - コンピュータのマニュアル

## デルサポートサイト — [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com)

**メモ：**適切なサポートサイトを表示するには、お住まいの地域を選択します。

デルサポートウェブサイトには、以下のツールを含むいくつかのオンラインツールがあります。

- ソリューション — トラブル解決ナビ、Q&A
- カスタマーケア — お問い合わせ先、ご注文の状況、保証、および修理に関する情報
- ダウンロード — ドライバ、パッチ、およびソフトウェアのアップデート
- 参考資料 — コンピュータのマニュアル、製品仕様、およびホワイトペーパー

- 
- Windows XP の使い方
  - コンピュータのマニュアル
  - デバイス（モデムなど）のマニュアル

## Windows ヘルプとサポートセンター

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 問題に関連する用語や文節をボックスに入力して、矢印アイコンをクリックします。
- 3 問題に関連するトピックをクリックします。
- 4 画面に表示される指示に従ってください。

---

## 何をお探しですか？

- オペレーティングシステムの再インストール方法

---

## こちらをご覧ください

### オペレーティングシステム CD

オペレーティングシステムは、本コンピュータにすでにインストールされています。オペレーティングシステムを再インストールする場合は、『オペレーティングシステム CD』を使用します。59 ページの「Windows XP の再インストール」を参照してください。この CD は、将来使用するときのために安全な場所に保管してください。



オペレーティングシステムを再インストールしたら、『Drivers and Utilities CD』を使って、コンピュータに付属するデバイス用のドライバを再インストールします。

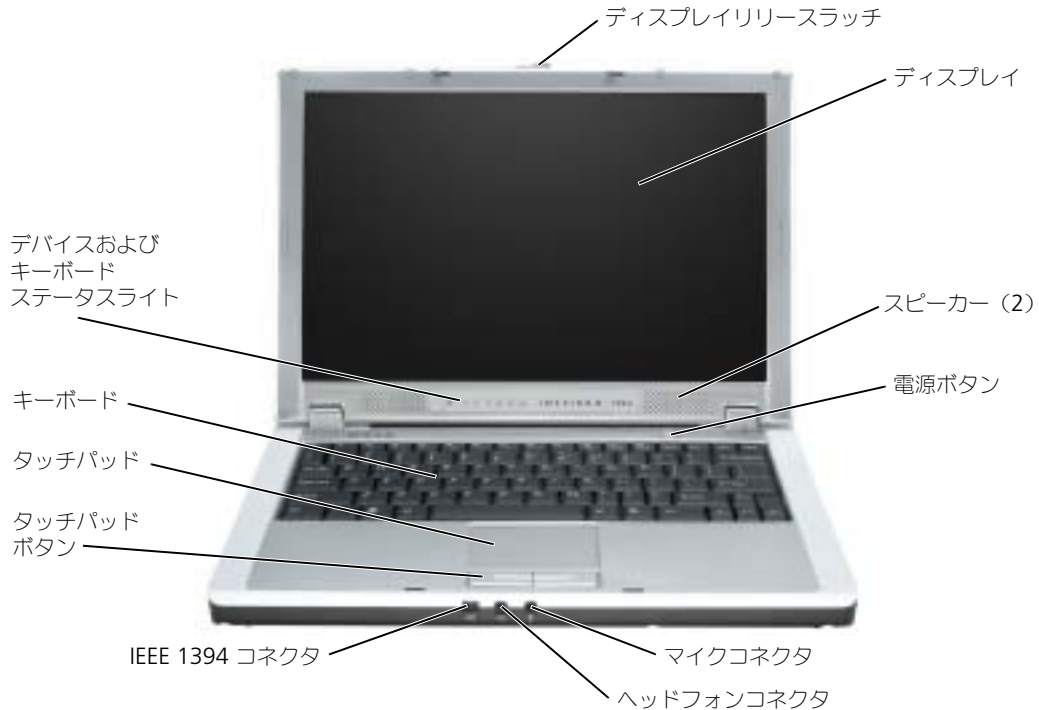
オペレーティングシステムの Product key (プロダクトキー) ラベルは、コンピュータに貼付されています。

**メモ：**注文されたオペレーティングシステムによって、CDの色が違います。

---

# コンピュータの各部

## 正面図



**ディスプレイリリースラッチ** — このディスプレイラッチをスライドして外し、ディスプレイを開きます。

**ディスプレイ** — ディスプレイの詳細については、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルの「ディスプレイの使い方」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、10 ページを参照してください。


**スピーカー** — 内蔵スピーカーの音量を調節するには、キーボードにある音量調節のショートカットキーを押します。詳細については、37 ページの「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。


**電源ボタン** — 電源ボタンを押すと、コンピュータの電源が入るか、または省電力モードに入ります。

➡ **注意：**データの紛失を避けるため、電源ボタンを押さずにコンピュータをシャットダウンします。

**オーディオコネクタ** — ヘッドフォンとマイクを接続します。



 のコネクタにはヘッドフォンまたはスピーカーを接続します。

 のコネクタにはマイクを接続します。












**IEEE 1394 コネクタ** — デジタルビデオカメラなど、IEEE 1394 高速転送速度をサポートするデバイスを接続します。


**タッチパッド** — タッチパッドおよびタッチパッドボタンは、マウスの機能と同じように使うことができます。詳細については、37 ページの「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。

**キーボード** — キーボードには、テンキーパッドと Microsoft® Windows® ロゴキーが含まれています。お使いのコンピュータがサポートするキーボードショートカットの状態については、37 ページの「キーボードとタッチパッドの使い方」を参照してください。

## デバイスおよびキーボードステータスライト



-  ワイヤレスネットワークが有効になると点灯します。ワイヤレスネットワークを有効にしたり無効にしたりするには、<Fn><F2> を押します。
-  コンピュータの電源を入ると点灯します。コンピュータが省電力モードの場合、常時点灯または点滅します。
-  バッテリー充電ステータスを表示します。  
コンピュータがコンセントに接続されている場合、 のライトは次のように動作します。
  - 緑色の点灯 — バッテリーの充電中コンピュータをバッテリーでお使いの場合、 のライトは次のように動作します。
  - 消灯 — バッテリーが十分に充電されている（または、コンピュータの電源が切れている）
  - 緑色の点滅 — バッテリーの充電残量が低下している
-  コンピュータがデータを読み取ったり、書き込んだりしている場合に点灯します。
  -  **注意：**データの損失を防ぐため、 のライトが点滅している間は、絶対にコンピュータの電源を切らないでください。
-  テンキーパッドが有効になると点灯します。
-  英字が常に大文字で入力される機能が有効になると点灯します。
-  Scroll Lock 機能が有効になると点灯します。


 **メモ：**ディスプレイを閉じて、デバイスステータスライトは見えます。

## 左側面図





**セキュリティケーブルスロット** — このスロットを使って、市販の盗難防止用品をコンピュータに取り付けることができます。詳細に関しては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。



 盗難防止用品を購入される前に、お使いのセキュリティケーブルスロットに対応しているか確認してください。

**排気口** — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防ぎます。

 **メモ:** コンピュータは熱を持った場合にファンを動作させます。ファンからノイズが聞こえる場合がありますが、これは一般的な現象で、ファンやコンピュータに問題が発生したわけではありません。

 **警告:** 通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼働中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

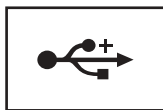


## ビデオコネクタ



外付けモニターを接続します。詳細については、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルにある「ディスプレイの使い方」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、10 ページを参照してください。

## USB 2.0 コネクタ



マウス、キーボード、またはプリンタなどの USB 2.0 準拠デバイスにコンピュータに接続します。

**PC カードスロット** — モデムまたはネットワークアダプタなどの PC カードを 1 枚サポートします。コンピュータは出荷時に、プラスチック製のダミーカードがスロットに取り付けられています。詳細に関しては、41 ページの「PC カードの使い方」を参照してください。

## SD メモリカードスロット



SD メモリカードスロットは、1 枚の SD メモリカードをサポートします。SD メモリカードは、データの保存またはバックアップに使用します。

## 右側面図



**モジュールベイ** — モジュールベイには、オプティカルドライブや Dell TravelLite™ モジュールなどのデバイスを取り付けることができます。詳細については、31 ページの「モジュールベイデバイスの取り付け」を参照してください。

### モデムコネクタ (RJ-11)

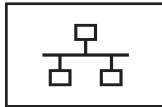


電話回線をモデムコネクタに接続します。

モデムの使い方については、コンピュータに付属されているオンラインのモデムのマニュアルを参照してください。

### ネットワークコネクタ (RJ-45)

**注意：** ネットワークコネクタは、モデムコネクタよりも若干大きめです。コンピュータの損傷を防ぐため、電話線をネットワークコネクタに接続しないでください。



コンピュータをネットワークに接続します。コネクタの横にある緑および黄色のライトは、ワイヤ およびワイヤレスネットワーク通信の活動を示します。

ネットワークアダプタの使い方については、コンピュータに付属されているオンラインのネットワークアダプタのマニュアルを参照してください。

**AC アダプタコネクタ** — バッテリー電源ではなく、AC 電源でコンピュータが稼働できるように、AC アダプタを接続します。



AC アダプタは AC 電力をコンピュータに必要な DC 電力へと変換します。AC アダプタは、コンピュータの電源のオンまたはオフにかかわらず接続できます。

**⚠ 警告：**AC アダプタは世界各国のコンセントに適合しています。ただし、電源コネクタおよび電源タップは国によって異なります。互換性のないケーブルを使用したり、ケーブルを不適切に電源タップまたはコンセントに接続したりすると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。

**🔄 注意：**ケーブルの損傷を防ぐため、AC アダプタケーブルをコンピュータから外す場合は、コネクタを持ち（ケーブル自体を引っ張らないでください）、しっかりと、かつ慎重に引き抜いてください。

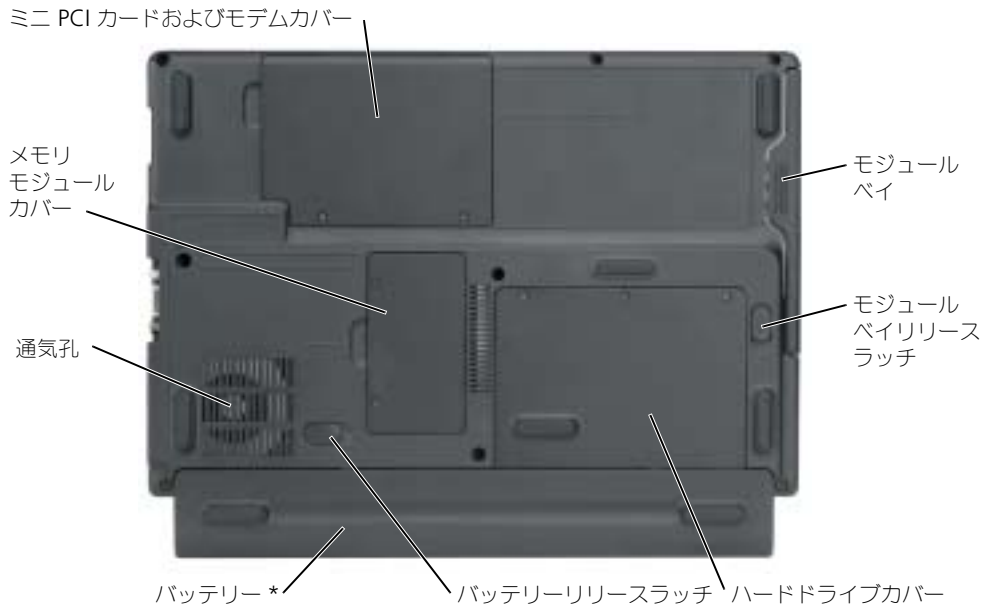
**🔄 注意：**AC アダプタケーブルが、椅子やケーブルまたはその他のもので押しつぶされる恐れのある経路にないことを確認してください。

### S ビデオ TV 出力コネクタ



コンピュータを TV に接続します。詳細については、35 ページの「テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続」を参照してください。

## 底面図



\* オプションの 8 セルバッテリーを表示

**モジュールベイ** — モジュールベイには、オプティカルドライブなどのデバイスを取り付けることができます。詳細については、31 ページの「モジュールベイデバイスの取り付け」を参照してください。

**モジュールベイリリースラッチ** — デバイスを取り外します。手順については、31 ページの「モジュールベイデバイスの取り付け」を参照してください。

**ハードドライブ** — ソフトウェアおよびデータを保存します。

**バッテリーリリースラッチ** — デバイスを取り外します。手順については、27 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

**バッテリー / バッテリーベイ** — バッテリーを取り付けると、コンピュータをコンセントに接続しなくてもコンピュータを使用することができます。27 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。

**通気孔** — コンピュータは内蔵ファンを使って、通気孔から空気が流れるようになっています。これによって、コンピュータがオーバーヒートすることを防ぎます。


**⚠ 警告**：通気孔を塞いだり、物を押し込んだり、埃や異物が入ったりすることがないようにしてください。コンピュータの稼動中は、ブリーフケースの中など空気の流れの悪い環境にコンピュータを置かないでください。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、コンピュータに損傷を与えたりする恐れがあります。

**メモリモジュールカバー** — メモリモジュールを含む実装部をカバーします。79 ページの「メモリ」を参照してください。

**ミニ PCI カードおよびモデムカバー** — ミニ PCI カードおよびモデムを含む実装部をカバーします。82 ページの「ミニ PCI カード」および 81 ページの「モデム」を参照してください。

# コンピュータのセットアップ

## インターネットへの接続

 **メモ:** ISP および ISP が提供するオプションは国によって異なります。

インターネットに接続するには、モデムまたはネットワーク接続、および AOL や MSN などの ISP (インターネットサービスプロバイダ) が必要です。ISP は、1 つまたは複数の以下のインターネット接続オプションを提供します。

- 電話回線を経由してインターネットにアクセスできるダイヤルアップ接続。ダイヤルアップ接続は、DSL やケーブルモデム接続に比べて速度がかなり遅くなります。
- 既存の電話回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供する DSL 接続。DSL 接続では、インターネットにアクセスしながら同時に同じ回線で電話を使用することができます。
- 既存のケーブルテレビ回線を経由して高速のインターネットアクセスを提供するケーブルモデム接続。

ダイヤルアップ接続をお使いの場合は、インターネット接続をセットアップする前に、コンピュータのモデムコネクタおよび壁の電話コンセントに電話線を接続します。DSL またはケーブルモデム接続をお使いの場合、セットアップ手順についてはご利用の ISP にお問い合わせください。

## インターネット接続のセットアップ

AOL または MSN 接続をセットアップするには、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 Microsoft® Windows® デスクトップの **MSN Explorer** または **AOL** アイコンをダブルクリックします。
- 3 画面の手順に従ってセットアップを完了します。

デスクトップに **MSN Explorer** または **AOL** アイコンがない場合、または別の ISP を使ってインターネット接続をセットアップしたい場合は、次の手順を実行します。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 **スタート** ボタンをクリックして、**Internet Explorer** をクリックします。

**新しい接続ウィザード** が表示されます。

- 3 **インターネットに接続する** をクリックします。
- 4 次のウィンドウで、該当する以下のオプションをクリックします。
  - ISP と契約されておらず、その 1 つを選びたい場合は、**インターネットサービスプロバイダ (ISP) の一覧から選択する** をクリックします。
  - ISP からセットアップ情報を入手済みではあるけれどもセットアップ CD をお持ちでない場合は、**接続を手動でセットアップする** をクリックします。
  - CD をお持ちの場合は、**ISP から提供された CD を使用する** をクリックします。

5 **次へ** をクリックします。

**接続を手動でセットアップする** を選択した場合は、手順 6 に進んでください。それ以外の場合は、画面の手順に従ってセットアップを完了してください。



**メモ**：どの種類の接続を選んだらよいかわからない場合は、ご契約の ISP にお問い合わせください。

6 **インターネットにどう接続しますか？** で設定するオプションをクリックし、**次へ** をクリックします。

7 ISP から提供されたセットアップ情報を使って、セットアップを完了します。

インターネットにうまく接続できない場合、62 ページの「E-メール、モデム、およびインターネットの問題」を参照してください。過去にインターネットに正常に接続できていたのに接続できない場合、ISP のサービスが停止している可能性があります。サービスの状態について ISP に確認するか、後でもう一度接続してみてください。

## 情報を新しいコンピュータに転送する

Microsoft® Windows® XP のオペレーティングシステムでは、ソースコンピュータから新しいコンピュータにデータを転送するためのファイルと設定の転送ウィザードを提供しています。下記のデータが転送できます。

- E-メール
- ツールバーの設定
- ウィンドウのサイズ
- インターネットのブックマーク

新しいコンピュータにネットワークまたはシリアル接続を介してデータを転送したり、書き込み可能 CD、またはフロッピーディスクなどのリムーバブルメディアにデータを保存したりできます。

新しいコンピュータに情報を転送するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム → アクセサリ → システムツール** とポイントして、**ファイルと設定の転送ウィザード** をクリックします。
- 2 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 3 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で **転送先の新しいコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
- 4 **Windows XP CD がありますか？** 画面で **Windows XP CD からウィザードを使います** をクリックし、**次へ** をクリックします。
- 5 **今、古いコンピュータに行ってください** 画面が表示されたら、古いコンピュータまたはソースコンピュータに行きます。このときに、**次へ** をクリックしないでください。

古いコンピュータからデータをコピーするには次の手順を実行します。

- 1 古いコンピュータで、Windows XP の『オペレーティングシステム CD』を挿入します。
- 2 **Microsoft Windows XP** 画面で、**追加のタスクを実行する** をクリックします。
- 3 **実行する操作の選択** で **ファイルと設定を転送する** をクリックします。
- 4 **ファイルと設定の転送ウィザードの開始** 画面で、**次へ** をクリックします。
- 5 **これはどちらのコンピュータですか？** 画面で **転送先の古いコンピュータ** をクリックし、**次へ** をクリックします。
- 6 **転送方法を選択してください** 画面で希望の転送方法をクリックします。

7 **何を転送しますか？** 画面で転送する項目を選択し、**次へ** をクリックします。  
情報がコピーされた後、**ファイルと設定の収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

8 **完了** をクリックします。

新しいコンピュータにデータを転送するには、次の手順を実行します。

1 新しいコンピュータの **今、古いコンピュータに行ってください** 画面で、**次へ** をクリックします。

2 **ファイルと設定はどこにありますか？** 画面で設定とファイルの転送方法を選択し、**次へ** をクリックします。

ウィザードは収集されたファイルと設定を読み取り、それを新しいコンピュータに適用します。

設定とファイルがすべて適用されると、**収集フェーズを処理しています ...** 画面が表示されます。

3 **完了** をクリックして、新しいコンピュータを再起動します。

## プリンタのセットアップ



**注意：**オペレーティングシステムのセットアップを完了してから、プリンタをコンピュータに接続してください。

以下の手順を含むセットアップ情報については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。

- アップデートされたドライバの入手とインストール
- プリンタのコンピュータへの接続
- 給紙およびトナー、またはインクカートリッジの取り付け
- プリンタの製造元からのテクニカルサポート

### プリンタケーブル

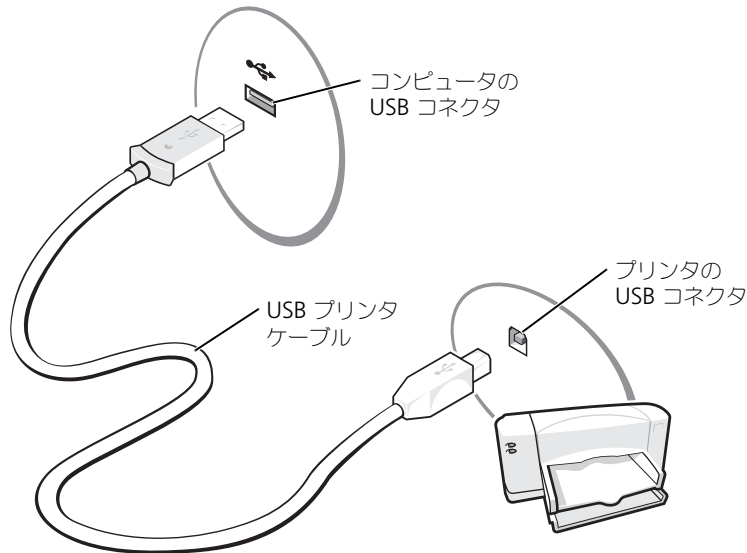
プリンタにはプリンタケーブルが付属されていない場合があります。ケーブルを別に購入する際は、プリンタと互換性があることを確認してください。コンピュータと一緒にプリンタケーブルを購入された場合は、ケーブルはコンピュータの箱に同梱されています。

## USB プリンタの接続



**メモ:** USB デバイスは、コンピュータに電源が入っている状態でも、接続することができます。

- 1 オペレーティングシステムをまだセットアップしていない場合は、セットアップを完了します。
- 2 必要に応じて、プリンタドライバをインストールします。プリンタに付属のマニュアルを参照してください。
- 3 コンピュータとプリンタの USB コネクタに USB プリンタケーブルを差し込みます。USB コネクタは一方向にしか差し込めません。



## 電源保護装置

電圧変動や電力障害の影響からシステムを保護するために、電源保護装置が利用できます。

- サージプロテクタ
- ラインコンディショナ（回線調整装置）
- 無停電電源装置（UPS）

### サージプロテクタ

サージプロテクタやサージプロテクション機能付き電源タップは、雷雨中または停電の後に発生する恐れのある電圧スパイクによるコンピュータへの損傷を防ぐために役立ちます。通常、保護レベルはサージプロテクタの価格と見合ったものになります。サージプロテクタの製造業者によっては、特定の種類の損傷に対して保証範囲を設けています。サージプロテクタを選ぶ際は、装置の保証書をよくお読みください。ジュール定格が高いほど、デバイスをより保護できます。ほかの装置と比較して有効性を判断するには、ジュール定格を比較します。



- ➡ **注意：**ほとんどのサージプロテクタには、電力の変動または落雷による電撃に対する保護機能はありません。お住まいの地域で雷が発生した場合は、電話線を電話ジャックから抜いて、さらにコンピュータをコンセントから抜いてください。

サージプロテクタの多くは、モデムを保護するための電話ジャックを備えています。モデム接続の手順については、サージプロテクタのマニュアルを参照してください。

- ➡ **注意：**すべてのサージプロテクタが、ネットワークアダプタを保護できるわけではありません。雷雨時は、必ずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックから抜いてください。

## ラインコンディショナ

- ➡ **注意：**ラインコンディショナには、停電に対する保護機能はありません。

ラインコンディショナは AC 電圧を適切に一定のレベルに保つよう設計されています。

## 無停電電源装置 (UPS)

- ➡ **注意：**データをハードドライブに保存している間に電力が低下すると、データを損失したりファイルが損傷したりする恐れがあります。

- 📌 **メモ：**バッテリーの最大駆動時間を確保するには、お使いのコンピュータのみを UPS に接続します。プリンタなどその他のデバイスは、サージプロテクションの付いた別の電源タップに接続します。


UPS は電圧変動および停電からの保護に役立ちます。UPS 装置は、AC 電源が切れた際に、接続されているデバイスへ一時的に電力を供給するバッテリーを備えています。バッテリーは AC 電源が利用できる間に充電されます。バッテリーの駆動時間についての情報、および装置が UL (Underwriters Laboratories) 規格に適合しているか確認保するには、UPS 製造業者のマニュアルを参照してください。



# バッテリーの使い方

## バッテリーの性能


 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ：**ノートブックコンピュータ用のバッテリーは、コンピュータの保証期間の最初の 1 年間に限り保証されます。お使いのコンピュータのデル品質保証の詳細に関しては、『サービス&サポートのご案内』をご覧ください。


コンピュータの性能を最大に保ち BIOS の設定を保持するため、Dell™ ノートブックコンピュータをご使用の際は、常にメインバッテリーを取り付けてください。コンピュータがコンセントに接続されていない場合、バッテリーを使用してコンピュータに電力を供給します。バッテリーベイにはバッテリーが 1 つ、標準で搭載されています。


バッテリーの動作時間は、使用状況によって異なります。次のような場合、バッテリーの持続時間は著しく短くなりますが、これらの場合に限定されません。


- DVD、DVD-R、および CD-RW ドライブを使用している場合
- ワイヤレス通信デバイス、PC カード、または USB デバイスを使用している場合
- ディスプレイの輝度を高く設定したり、3D スクリーンセーバー、または 3D ゲームなどの電力を集中的に使用するプログラムを使用したりしている場合
- 最大パフォーマンスモードでコンピュータを実行している場合（『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルにある「電力の管理」を参照してください。）

 **メモ：**CD または DVD に書き込みをする際は、コンピュータをコンセントに接続することをお勧めします。


バッテリーの充電量が少なくなると、警告を発するように電源管理のオプションを設定することができます。

 **警告：**適切でないバッテリーを使用すると、火災または爆発を引き起こす可能性があります。交換するバッテリーは、必ずデルが販売している適切なものをお使いください。お使いの Dell コンピュータは、リチウムイオンバッテリーで動作するように設計されています。他のコンピュータのバッテリーを使用しないでください。


 **警告：**バッテリーを家庭用のごみと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、デル担当窓口：デル PC リサイクルデスク（電話 044-556-3481）へお問い合わせください。『製品情報ガイド』にある「バッテリーの廃棄」を参照してください。


 **警告：**バッテリーの取り扱いを誤ると、火災や化学燃焼を引き起こす可能性があります。バッテリーに穴をあけたり、燃やしたり、分解したり、または温度が 65 °C を超える場所に置いたりしないでください。バッテリーはおお客様の手の届かない所に保管してください。損傷のあるバッテリー、または漏れているバッテリーの取り扱いには、特に気を付けてください。バッテリーが損傷していると、セルから電解液が漏れ出し、けがをしたり装置を損傷したりする恐れがあります。

## バッテリーの充電チェック


Microsoft® Windows® **電源メーター** ウィンドウ、 アイコン、およびバッテリーの低下を知らせる警告は、バッテリーの充電に関する情報を提供します。

### Microsoft Windows 電源メーター

Windows の電源メーターは、バッテリーの充電残量を示します。電源メーターを確認するには、タスクバーの  アイコンをダブルクリックします。**電源メーター** タブの詳細に関しては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルの「電力の管理」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、**10 ページ**を参照してください。

コンピュータがコンセントに接続されている場合、 アイコンが表示されます。

### バッテリーの低下を知らせる警告

 **注意：**データの損失またはデータの破損を防ぐため、バッテリーの低下を知らせる警告音が鳴ったら、すぐに作業中のファイルを保存してください。次に、コンピュータをコンセントに接続します。バッテリーの充電残量が完全になくなると、自動的に休止状態モードに入ります。

ポップアップウィンドウの警告は、バッテリーの全充電量の約 **90 %** を消費した時点で発せられます。バッテリー低下アラームの詳細については、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルの「電力の管理」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、**10 ページ**を参照してください。

## バッテリーの充電

コンピュータをコンセントに接続していたり、コンセントに接続されているコンピュータにバッテリーを取り付けたりすると、コンピュータはバッテリーの充電状態と温度をチェックします。その後、AC アダプタは必要に応じてバッテリーを充電し、その充電量を保持します。

バッテリーがコンピュータの使用中に高温になったり高温の環境に置かれたりすると、コンピュータをコンセントに接続してもバッテリーが充電されない場合があります。

バッテリーの問題の解決の詳細に関しては、**69 ページ**の「電源の問題」を参照してください。

## バッテリーの取り外し

**⚠ 警告：**まずモデムを壁の電話プラグから抜いてから、この項の作業を行ってください。

- 1 コンピュータの電源が切っているか、省電力モードの休止状態に入っているか、またはコンセントに接続されているか確認します。
- 2 コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドしたまま、ベイからバッテリーを取り外します。



オプションの 8 セルバッテリーを表示

## バッテリーの取り付け

リリースラッチがカチッと所定の位置に収まるまで、バッテリーをベイにスライドします。

## バッテリーの保管

長期間コンピュータを保管する場合は、バッテリーを取り外してください。バッテリーは、長期間保管していると放電してしまいます。長期間保管後にコンピュータをお使いになる際は、完全にバッテリーを再充電してください。



## モジュールベイデバイスの取り付け

### モジュールベイについて

**⚠ 警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

モジュールベイには、DVD ドライブ、CD-RW/DVD ドライブ、または DVD+RW ドライブなどのデバイスをインストールすることができます。

### コンピュータが停止中の場合のデバイスの取り外しと取り付け

**ⓘ 注意：**デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。

- 1 デバイスリリースラッチをスライドしたままの状態にします。



- 2 デバイスをモジュールベイから取り出します。
- 3 新しいデバイスがベイにカチッと収まるまで押します。

## コンピュータが実行中の場合のデバイスの取り外しと取り付け

- 1 デバイスを取り出す前に、タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックし、取り出すデバイスをクリックして **停止** をクリックします。
- ② **注意**：デバイスへの損傷を防ぐため、コンピュータにデバイスを取り付けない場合、デバイスは乾燥した安全な場所に保管し、上から力を加えたり、重いものを載せたりしないでください。
- 2 デバイスリリースラッチをスライドしたままの状態にします。



- 3 デバイスをモジュールベイから取り出します。
- 4 新しいデバイスがベイにカチッと収まるまで押します。  
オペレーティングシステムは自動的に新しいデバイスを認識します。



# CD、DVD、およびその他のマルチメディアの使い方

## CD および DVD の使い方

お使いのコンピュータの CD および DVD の使用方法については、『Dell™ Inspiron™ ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、10 ページを参照してください。

## CD および DVD のコピー



**メモ:** CD または DVD を作成する際は、著作権法に基づいていることを確認してください。

本項は、CD-R、CD-RW、DVD+RW、DVD+R、または DVD/CD-RW コンボドライブを備えたコンピュータにだけ適用されます。

以下の手順では、CD または DVD を完全にコピーする方法について説明します。Sonic RecordNow は、コンピュータにあるオーディオファイルから CD を作成したり、MP3 CD を作成するなど、その他の目的にも使用することができます。Sonic RecordNow の手順については、コンピュータに付属の Sonic RecordNow のマニュアルを参照してください。Sonic RecordNow を開き、ウィンドウの右上にある疑問符 (?) のアイコンをクリックし、**RecordNow のヘルプ** または **RecordNow チュートリアル** をクリックします。

## CD または DVD のコピーの仕方



**メモ:** お使いのコンピュータに DVD/CD-RW コンボドライブが備わっていて、書き込みについて過去に問題があった場合は、Sonic サポートサイト ([sonicjapan.co.jp/support](http://sonicjapan.co.jp/support)) から入手できるソフトウェアパッチを確認してください。

現在、次の 5 種類の DVD 書き込み用ディスクフォーマットが利用可能です。DVD+R、DVD+RW、DVD-R、DVD-RW および DVD-RAM があります。Dell™ コンピュータにインストールされている DVD 書き込み用ドライブは、DVD+R および DVD+RW メディアへの書き込み、DVD-R および DVD-RW メディアからの読み取りが可能です。ただし、DVD 書き込みドライブでは、DVD-RAM メディアへの書き込みはできません。また、読み取りもできないことがあります。また、市販されているホームシアターシステム用の DVD プレイヤーは、5 種類すべてのフォーマットを読み取らない可能性があります。



**メモ:** 市販の DVD の大部分は著作権のプロテクションがかかっており、Sonic RecordNow を使用してコピーすることはできません。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **Sonic** → **RecordNow!** とポイントし、**RecordNow!** をクリックします。

- 2 コピーする CD または DVD の種類に応じて、オーディオタブまたはデータタブのいずれかをクリックします。
- 3 **バックアップ** をクリックします。
- 4 CD または DVD をコピーするには、次の手順を実行します。
  - CD または DVD ドライブが 1 つしかない場合、設定が正しいことを確認し、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD を読み取り、コンピュータのハードドライブの一時フォルダにコピーします。  
プロンプトが表示されたら、CD または DVD ドライブに空の CD または DVD を挿入し、**OK** をクリックします。
  - CD または DVD ドライブが 2 つある場合、ソース CD または DVD を入れたドライブを選択し、**バックアップ** をクリックします。コンピュータがソース CD または DVD のデータを空の CD または DVD にコピーします。

ソース CD または DVD のコピーが終了すると、作成された CD または DVD は自動的に出てきます。

### 空の CD-R および CD-RW の使い方

お使いの CD-RW ドライブは、CD-R および CD-RW（高速 CD-RW を含む）の 2 種類の違ったタイプの記録メディアに書き込みができます。音楽や永久保存データファイルを記録するには、空の CD-R を使用してください。CD-R の作成後、記録方法を変更しない限り、この CD-R を上書きすることはできません（詳細に関しては、Sonic のマニュアルを参照してください）。CD に書き込んだり、CD のデータを消去、上書き、またはアップデートするには、空の CD-RW を使用してください。

お使いの DVD 書き込み可能ドライブは、CD-R および CD-RW（高速 CD-RW を含む）、DVD+R、および DVD+RW の 4 種類の違ったタイプの記録メディアに書き込みができます。空の DVD+R は、大量の情報を保存するために恒久的に使用できます。DVD+R ディスクを作成した後、そのディスクに再度書き込みができないことがあるかもしれません。これは、ディスクを作成するプロセスの最終段階で、そのディスクが「最終処理」または「クローズ」された場合です。後でディスクにある情報を消去、再書き込み、または更新する場合、空の DVD+RW を使用してください。

### 便利なヒント

- Sonic RecordNow を開始し、RecordNow プロジェクトを開いた後であれば、Microsoft® Windows® Explorer を使用してファイルを CD-R または CD-RW にドラッグ&ドロップすることができます。
- コピーした音楽 CD を一般的なステレオで再生させるには、CD-R を使用する必要があります。CD-RW はほとんどの自宅または車のステレオで再生することはできません。
- Sonic RecordNow を使用して、オーディオ DVD を作成することはできません。
- 音楽用 MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーでのみ、または MP3 ソフトウェアがインストールされたコンピュータでのみ再生できます。
- 空の CD-R または CD-RW を最大容量までコピーしないでください。たとえば、650 MB のファイルを 650 MB の空の CD にコピーしないでください。CD-RW ドライブは、記録の最終段階で 1 MB または 2 MB の空きがあることが必要です。

- CD への記録について操作に慣れるまで練習するには、空の CD-RW を使用してください。CD-RW なら、失敗しても CD-RW のデータを消去してやりなおすことができます。また、空の CD-R に音楽ファイルプロジェクトを永久記録する前にプロジェクトをテストする場合にも、空の CD-RW を使用してください。
- 詳細に関しては、Sonic サポートサイト [sonicjapan.co.jp/support](http://sonicjapan.co.jp/support) を参照してください。

## テレビまたはオーディオデバイスへのコンピュータの接続

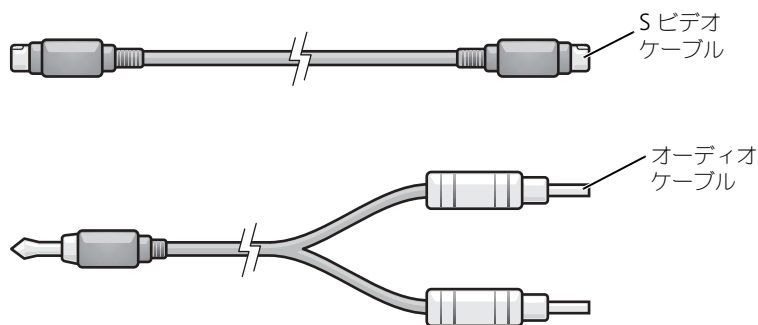
**メモ:** テレビまたはその他のオーディオデバイスとコンピュータを接続するビデオケーブルとオーディオケーブルは、お使いのコンピュータには付属していません。必要なケーブルは、お近くの電気店で買い求めください。

市販の S ビデオケーブルを使って、お使いのコンピュータを TV の S ビデオ入力に接続することができます。コンピュータの前面にあるオーディオコネクタは、市販のオーディオケーブルを使って、コンピュータをテレビまたはオーディオデバイスに接続することができます。

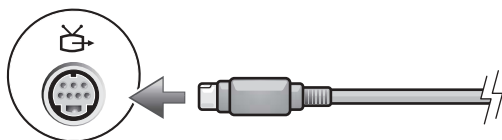
**メモ:** どの方法をお使いになるかを決める際の参考として、各サブセクションのはじめにある接続の組み合わせ図を参照してください。

コンピュータとテレビをビデオケーブルおよびオーディオケーブルで接続し終わったら、コンピュータでテレビが機能するようにコンピュータを有効にする必要があります。36 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

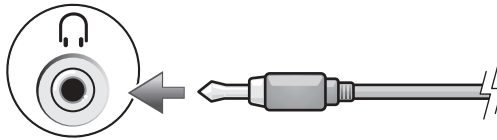
### S ビデオ接続



- 1 接続するコンピュータ、テレビ、およびオーディオデバイスの電源を切ります。
- 2 S ビデオケーブルの一端をコンピュータの S ビデオテレビ出力コネクタに差し込みます。



- 3 S ビデオケーブルのもう片方の端を、テレビの S ビデオ入力コネクタに差し込みます。
- 4 コネクタが 1 つ付いている方のオーディオケーブルの端を、コンピュータのヘッドフォンコネクタに差し込みます。



- 5 もう一方のオーディオケーブルの端にある 2 つの RCA コネクタを、テレビまたは他のオーディオデバイスのオーディオ入力コネクタに差し込みます。
- 6 テレビおよび接続したすべてのオーディオデバイス（該当する場合）の電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
- 7 36 ページの「テレビの表示設定の有効化」を参照して、コンピュータがテレビを認識し、正常に動作していることを確認します。

## テレビの表示設定の有効化

### 内蔵ビデオコントローラ

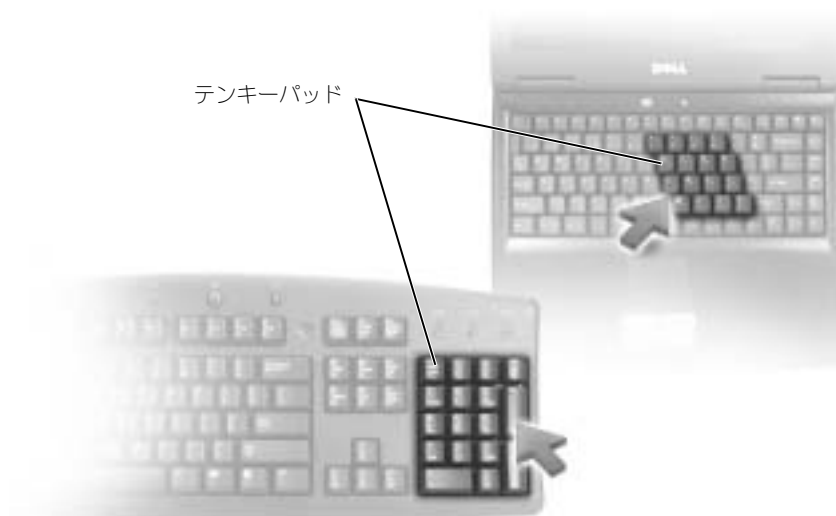


**メモ:** 表示設定を有効にする前に、テレビが適切に接続されているか確認します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 **コントロールパネルを選んで実行します** にある **画面** をクリックします。
- 4 **設定** タブをクリックし、**詳細設定** をクリックします。
- 5 **Intel (R) Extreme Graphics** タブをクリックします。
- 6 **グラフィックのプロパティ** ボタンをクリックします。
- 7 コンピュータのディスプレイおよびその他のディスプレイのオプションを一切使わずに **TV** だけを使いたい場合は、次の操作を行います。
  - a 新しいウィンドウで、**TV** をクリックしてテレビアイコンの上に赤いチェックマークを付けます。
  - b 設定が正しいことを確認します。
- 8 **TV** とコンピュータのディスプレイを同時に使いたい場合は、次の操作を行います。
  - a 新しいウィンドウで **Intel (R) Dual Display Clone** をクリックして、デバイスのリストにテレビがあることを確認します。
  - b **デバイス設定** をクリックします。
  - c 新しいウィンドウで、画面解像度の設定が適切であることを確認します。
- 9 **適用** をクリックすると、新しい設定が表示されます。
- 10 **OK** をクリックして、設定の変更を確定します。
- 11 **はい** をクリックし、新しい設定を保存します。
- 12 **OK** をクリックします。

# キーボードとタッチパッドの使い方

## テンキーパッド



テンキーパッドは、外付けキーボードのテンキーパッドの機能と同じように使用できます。キーパッドの各キーは、複数の機能があります。キーパッドの数字と記号文字は、キーパッドキーの右側に青色で記されています。数字または記号を入力するには、<Fn> を押しながら必要なキーを押します。

- キーパッドを有効にするには、<Num Lk> を押します。⏻ のライトが点灯すると、キーパッドが有効であることを示しています。
- キーパッドを無効にするには、もう一度 <Num Lk> を押します。

## キーの組み合わせ

### システム関連

<Ctrl><Shift><Esc>	<b>タスクマネージャ</b> ウィンドウを開きます。
<Fn><F3>	テンキーパッドを有効または無効にします。
<Fn><F4>	Scroll Lock 機能を有効または無効にします。

### ディスプレイ関連

<Fn><F8>	画面モードの表示を次の画面オプションに切り替えます。このオプションには、内蔵ディスプレイ、外付けモニター、内蔵ディスプレイと外付けモニターの両方が含まれています。
<Fn> と上矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を上げます（外付けモニターには適用されません）。
<Fn> と下矢印キー	内蔵ディスプレイの輝度を下げます（外付けモニターには適用されません）。

### 無線通信（ワイヤレスネットワークを含む）

<Fn><F2>	ワイヤレスネットワークを含む無線通信を有効または無効にします。
----------	---------------------------------

### 電力の管理

<Fn><Esc>	省電力モードを起動します。 <b>電源オプションのプロパティ</b> ウィンドウの <b>詳細設定</b> タブを使って、異なる省電力モードを起動するために、ショートカットキーの設定を変更することができます。『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルの「電力の管理」を参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、10 ページを参照してください。
-----------	--

### スピーカー関連

<Fn><F5>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）を有効あるいは無効にします（ミュート機能）。
<Fn><F6>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を下げます。
<Fn><F7>	内蔵スピーカーと外付けスピーカー（接続されている場合）の音量を上げます。

### Microsoft® Windows® ロゴキー関連

Windows ロゴキーと <m>	開いているすべてのウィンドウを最小化します。
-------------------	------------------------

Windows ロゴキーと <Shift><m>	すべてのウィンドウを最大化します。
Windows ロゴキーと <e>	Windows エクスプローラを開きます。
Windows ロゴキーと <r>	<b>ファイルを選択して実行</b> ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <f>	<b>検索結果</b> ダイアログボックスを開きます。
Windows ロゴキーと <Ctrl><f>	<b>検索結果—コンピュータ</b> ダイアログボックスを開きます (ネットワークに接続している場合)。
Windows ロゴキーおよび <Pause>	<b>システムのプロパティ</b> ダイアログボックスを開きます。

文字の表示間隔など、キーボードの動作を調整するには、コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**キーボード** をクリックします。

## タッチパッド

タッチパッドは、指の圧力と動きを検知して画面のカーソルを動かします。マウスの機能と同じように、タッチパッドとタッチパッドボタンを使うことができます。



- カーソルを動かすには、タッチパッド上でそっと指をスライドします。
- オブジェクトを選択するには、タッチパッドの表面を軽く 1 回たたか、または親指で左のタッチパッドボタンを押します。
- オブジェクトを選択して移動（またはドラッグ）するには、選択したいオブジェクトにカーソルを合わせてタッチパッドを 2 回たたきます。2 回目にたたいたときにタッチパッドから指を離さずに、そのままタッチパッドの表面で指をスライドしてオブジェクトを移動させます。
- オブジェクトをダブルクリックするには、ダブルクリックするオブジェクトにカーソルを合わせて、タッチパッド上を 2 回たたか、または親指で左のタッチパッドボタンを 2 回押します。

## タッチパッドのカスタマイズ

**マウスのプロパティ** ウィンドウを使って、タッチパッドを無効にしたり設定を調整したりすることができます。

- 1 コントロールパネルを開いて **プリンタとその他のハードウェア** をクリックし、**マウス** をクリックします。
- 2 **マウスのプロパティ** ウィンドウで、以下の手順を実行します。
  - **デバイスの選択** タブをクリックして、タッチパッドを無効にします。
  - **ポインタ** タブをクリックして、タッチパッドの設定を調節します。
- 3 **OK** をクリックして設定を保存し、ウィンドウを閉じます。



# PC カードの使い方

## PC カードのタイプ

サポートされている PC カードに関する情報については、87 ページの「仕様」を参照してください。



**メモ:** PC カードは起動デバイスではありません。

PC カードスロットには、タイプ I またはタイプ II カード 1 枚に対応するコネクタが 1 つあります。

PC カードスロットは、カードバステクノロジーおよび拡張型 PC カードをサポートしています。カードの「タイプ」とは、その機能のことではなく、厚さのことを意味します。

## PC カードのダミーカード

お使いのコンピュータには、PC カードスロットにプラスチック製のダミーカードが取り付けられています。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。他のコンピュータのダミーカードは、お使いのコンピュータとサイズが合わないことがありますので、スロットに PC カードを取り付けない時のためにダミーカードを保管しておきます。

ダミーカードを取り外すには、41 ページの「PC カードまたはダミーカードの取り外し」を参照してください。


## 拡張 PC カード


拡張型 PC カード（たとえば、ワイヤレスネットワークアダプタ）は標準の PC カードより長く、コンピュータの外側にはみ出しています。拡張型 PC カードを使用する場合、次の注意事項に従ってください。

- 取り付けたカードのはみ出した部分を保護します。カードの端をぶつけると、システム基板が損傷する恐れがあります。
- コンピュータをキャリーケースに入れる場合、必ず拡張型 PC カードを取り外してください。

## PC カードまたはダミーカードの取り外し



**注意:** コンピュータからカードを取り外す前に、PC カード設定ユーティリティを使用して（タスクバーの  アイコンをクリックしてください）カードを選択し、その動作を停止してください。設定ユーティリティでカードの動作を停止しないでカードを取り外すと、データを失う恐れがあります。ケーブルが付いている場合、カードを取り外す際にケーブルそのものを引っばってカードを取り外さないでください。

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

1 ラッチを押し込みます。

ラッチによっては、ラッチを2回押す必要があります。1回目でラッチが外れ、2回目でカードが出てきます。



2 PCカードまたはダミーカードを取り外します。



- 3 スロットに PC カードを取り付けない場合に使用するダミーカードは保管しておきます。ダミーカードは、埃や他の異物から未使用のスロットを保護します。

## PC カードの取り付け

コンピュータの動作中に、PC カードを取り付けることができます。コンピュータは自動的にカードを検出します。

通常、PC カードは、カード上面にスロットへの挿入方向を示す矢印や三角形などが描かれています。カードは一方向にしか挿入できないように設計されています。カードの挿入方向がわからない場合は、カードに付属のマニュアルを参照してください。

**⚠ 警告：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。**

PC カードを取り付けるには、次の手順を実行します。

- 1 カード上面を上にして、挿入方向を示す印がスロットを指すようにカードを持ちます。ラッチを「中に入れた」位置にしてからカードを挿入する必要がある場合があります。
- 2 PC カードコネクタにカードが完全に収まるまで、カードをスロットにスライドします。  
カードがきちんと入らないときは、無理にカードを押し込まないでください。カードの向きが合っているかを確認して再度試してみてください。



コンピュータはほとんどの PC カードを認識し、自動的に適切なデバイスドライバをロードします。設定プログラムで製造元のドライバをロードするよう表示されたら、PC カードに付属のフロッピーディスクまたは CD を使用します。




# 家庭用および企業用ネットワークの セットアップ

## ネットワークアダプタへの接続


コンピュータをネットワークに接続する前に、お使いのコンピュータにネットワークアダプタが取り付けられていること、およびネットワークケーブルが接続されていることが必要です。

ネットワークケーブルを接続するには、次の手順を実行します。

- 1 ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークアダプタコネクタに接続します。

 **メモ:** ケーブルをカチッと所定の位置に収まるまで差し込みます。次に、ケーブルを軽く引いて、ケーブルの接続を確認します。

- 2 ネットワークケーブルのもう一方の端を、壁のネットワークジャックなどのネットワーク接続デバイスに接続します。


 **メモ:** ネットワークケーブルを電話ジャックに接続しないでください。



## ネットワークセットアップウィザード

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムには、家庭または小企業のコンピュータ間で、ファイル、プリンタ、またはインターネット接続を共有するための手順を案内するネットワークセットアップウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **通信** とポイントして、**ネットワークセットアップウィザード** をクリックします。
- 2 ネットワークセットアップウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 **ネットワーク作成のチェックリスト** をクリックします。


 **メモ:** 「**インターネットに直接接続している**」とラベル表示された接続方法を選択すると、Windows XP に設置されている内蔵ファイアウォールを使用することができます。

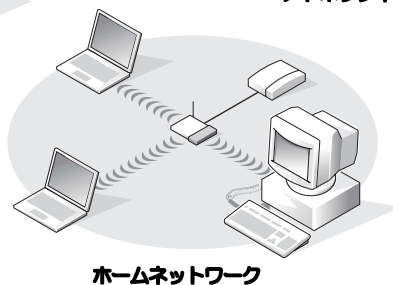
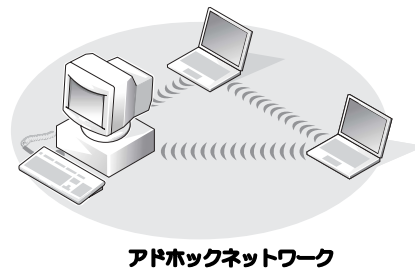
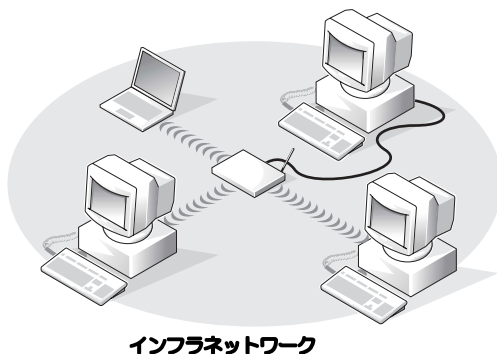
- 4 チェックリストのすべての項目に入力し、必要な準備を完了します。
- 5 ネットワークセットアップウィザードに戻り、画面の指示に従います。

## ワイヤレス LAN（ローカルエリアネットワーク）への接続

 **メモ:** ネットワークについてのこれらの説明は、Bluetooth® ワイヤレステクノロジーカードまたは携帯製品には適応しません。

### ネットワークタイプの判断

 **メモ:** ほとんどのワイヤレスネットワークは、インフラタイプです。ワイヤレスネットワークは、インフラネットワーク、アドホックネットワーク、ホームネットワークの 3 つの分類に分けられます。インフラネットワークは、ルーターまたはアクセスポイントを使用して、複数のコンピュータを一つに接続します。アドホックネットワークは、ルーターやアクセスポイントを使用せず、相互にブロードキャストするコンピュータで構成されています。ホームネットワークは、一般的に DSL またはケーブルのような高速インターネットアクセス、およびアクセスポイントやルーターに採用されます。




## Microsoft® Windows® XP でのワイヤレスネットワークへの接続


ワイヤレスネットワークカードには、ネットワークに接続するための専用のソフトウェアとドライバが必要です。ソフトウェアはすでにインストールされています。ソフトウェアが削除されているか破損している場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーズガイドにある手順に従ってください。このユーザーズガイドは、『Drivers and Utilities CD』（コンピュータに同梱）の「User's Guides-Network ユーザーズガイド」カテゴリにあります。ユーザーズガイドは、デルサポートサイト（[support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com)）からも入手できます。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして **コントロールパネル** をクリックし、**クラシック表示に切り替える** をクリックします。
- 2 **ネットワーク接続** をダブルクリックします。
- 3 **ワイヤレスネットワーク接続** をクリックします。  
**ワイヤレスネットワーク接続** アイコンがハイライト表示されます。
- 4 左側のペイン内の **ネットワークタスク** の下で、**この接続の設定を変更する** をクリックします。  
**ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ** ウィンドウが表示されます。

## 5 ワイヤレスネットワーク タブをクリックします。

 **メモ**：コンピュータが検知できるワイヤレスネットワークの名前が、**利用できるネットワーク** にリストされます。**追加** をクリックします。

**ワイヤレスネットワークのプロパティ** ウィンドウが表示されます。

 **メモ**：WPA で保護されたネットワークを使用しているのに、**アソシエーション** タブに WPA を選択するオプションが表示されない場合は、WPA ワイヤレスセキュリティアップデートを Microsoft のサポートサイトからダウンロードします。

## 6 ネットワークの名前を **ネットワーク名 (SSID)** フィールドに入力します。

## 7 セキュリティ設定を行う必要がない場合は、手順 9 に進みます。

セキュリティ設定を行うよう選択した場合は (オプション)、48 ページの「セキュリティの設定 (オプション)」に進みます。


## 8 **OK** をクリックします。

新しいネットワーク名が **優先するネットワーク** フィールドに表示され、ネットワークセットアップが完了します。

## セキュリティの設定 (オプション)

ネットワークのセキュリティ設定に基づいて、次の接続オプションから 1 つを選択します。

- WEP (Wired Equivalent Protocol) セキュリティ要件を持つネットワークに接続する
- WPA (Wi-Fi Protected Access) セキュリティ要件でネットワークに接続する

 **メモ**：ネットワークセキュリティ設定は、ご利用のネットワーク固有のもので、デルではこの情報をお知らせすることができません。

## WEP (Wired Equivalent Protocol) セキュリティ要件を持つネットワークに接続する

### 1 **優先するネットワーク** フィールドで、ワイヤレスネットワークの名前をクリックします。

### 2 **プロパティ** をクリックします。

### 3 **ネットワーク認証** ドロップダウンメニューから、**開いています** を選択します。

Dell ワイヤレスネットワークソフトウェアの旧バージョンでは、ドロップダウンメニューが用意されていないものもあります。旧バージョンをご使用の場合は、**データの暗号化 (WEP 有効)** というラベルのチェックボックスをクリックしてチェックし、手順 5 に進んでください。


### 4 **データの暗号化** ドロップダウンメニューから、**WEP** を選択します。

### 5 ワイヤレスネットワークでネットワークキー (パスワードなど) が不要な場合は、手順 9 に進んでください。

### 6 **キーは自動的に提供される** というラベルの付いたチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

### 7 WEP ネットワークキーを **ネットワークキー** フィールドに入力します。

### 8 WEP ネットワークキーを再度 **ネットワークキーの確認** フィールドに入力します。

 **メモ**：コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。




9 **OK** をクリックします。

ネットワークのセットアップが完了しました。

### WPA (Wi-Fi Protected Access) セキュリティ要件を持つネットワークに接続する

次の手順は、WPA ネットワークに接続するための基本的な手順です。ネットワークでユーザー名、パスワード、またはドメインの設定が必要な場合は、ワイヤレスネットワークカードのユーザーズガイドに記載されているセットアップ手順を参照してください。

 **メモ:** WPA プロトコルでは、自分のワイヤレスネットワークのネットワーク認証設定およびデータ暗号化設定を把握しておく必要があります。また、WPA 保護ネットワークでは、ネットワークキー、ユーザー名、パスワード、およびドメイン名などの特別な設定が必要な場合があります。

1 **優先するネットワーク** フィールドで、ワイヤレスネットワークの名前をクリックします。


2 **プロパティ** をクリックします。

3 **ネットワーク認証** ドロップダウンメニューから、ネットワーク認証タイプを選択します。

WPA で保護されたネットワークを使用しているのに、**アソシエーション** タブに WPA を選択するオプションが表示されない場合は、WPA ワイヤレスセキュリティアップデートを Microsoft のサポートサイトからダウンロードします。

4 **データの暗号化** ドロップダウンメニューから、データ暗号化タイプを選択します。

5 ワイヤレスネットワークでキーが必要な場合は、**ネットワークキー** フィールドに入力してください。

 **メモ:** コンピュータがネットワークに接続するのに 1 分ほどかかる場合があります。

6 **OK** をクリックします。

ネットワークのセットアップが完了しました。




## 問題の解決

### Dell Diagnostics（診断）プログラム

 **警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

#### Dell Diagnostics（診断）プログラムを使用する場合

コンピュータに問題が発生した場合、デルテクニカルサポートに問い合わせる前に、この項にあるチェック事項を実行してから、Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行してください。

 **注意：**Dell Diagnostics（診断）プログラムは、Dell™ コンピュータ上でのみ機能します。


Dell Diagnostics（診断）プログラムをハードドライブまたは『Drivers and Utilities CD』（ResourceCD とも呼ばれます）から起動します。

#### ハードドライブからの Dell Diagnostics（診断）プログラムの開始

Dell Diagnostics（診断）プログラムは、ハードドライブの診断ユーティリティ用隠しパーティションに格納されています。

 **メモ：**コンピュータに画面が表示されない場合は、デルにお問い合わせください（94 ページを参照）。

- 1 コンピュータをシャットダウンします（77 ページを参照）。
- 2 コンピュータをコンセントに接続します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。


 **メモ：**ディスプレイに何も表示されない場合は、<Fn> キーを押しながらコンピュータの電源ボタンを押すと Dell Diagnostics（診断）プログラムが開始します。コンピュータは自動的に起動前システムアクセスメントを実行します。

 **メモ：**診断ユーティリティパーティションが見つからないことを知らせるメッセージが表示された場合は、『Drivers and Utilities CD』から Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します。

ここで時間をおきすぎてオペレーティングシステムのロゴが表示された場合、Microsoft® Windows® デスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして（77 ページを参照）もう一度やりなおしてみます。

- 4 起動デバイス一覧が表示されたら、**Diagnostics** をハイライト表示して <Enter> を押します。起動前システムアセスメントが実行され、システム基板、キーボード、ハードドライブ、ディスプレイの初期テストが続けて実行されます。
- このシステムの評価中に、表示される質問に答えます。
  - 問題が検出された場合は、コンピュータはピーブ音を出して停止します。システムの評価を止めてオペレーティングシステムを再起動するには、<n> を押します。次のテストを続けるには <y> を押します。障害のあるコンポーネントを再テストするには、<r> を押します。
  - 起動前システムアセスメント中に障害が検出された場合、エラーコードが表示されます。エラーコードをひかえて、**Dell Diagnostics** (診断) プログラムを続ける前に、デルにお問い合わせください (94 ページを参照)。
- 起動前システムアセスメントが無事に終了した場合は、Booting Dell Diagnostic Utility Partition. Press any key to continue. (Dell Diagnostics (診断) ユーティリティパーティションの起動中。続けるには任意のキーを押します。) というメッセージが表示されます。
- 5 任意のキーを押すと、ハードドライブ上の診断プログラムユーティリティパーティションから **Dell Diagnostics** (診断) プログラムが起動します。

#### Drivers and Utilities CD からの Dell Diagnostics (診断) プログラムの開始

- 1 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。
  - 2 コンピュータをシャットダウンし (77 ページを参照)、再起動します。DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。  
ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次にコンピュータをシャットダウンして (77 ページを参照) もう一度やりなおしてみます。
-  **メモ:** 次の手順で、起動順序は一回だけ変更されます。次回の起動時には、コンピュータはセットアップユーティリティで指定したデバイスに従って起動します。
- 3 起動デバイス一覧が表示されたら、**CD/DVD/CD-RW ドライブ** をハイライト表示して、<Enter> を押します。
  - 4 CD 起動メニューから **CD/DVD/CD-RW ドライブ** をハイライト表示して、オプションを選択します。
  - 5 表示されたメニューから **Boot from CD-ROM** オプションを選択します。
  - 6 1 と入力して ResourceCD メニューを開始します。
  - 7 2 と入力して Dell Diagnostics (診断) プログラムを開始します。
  - 8 番号の付いたリストから **Run the 32 Bit Dell Diagnostics** を選択します。複数のバージョンがリストにある場合は、コンピュータに適切なバージョンを選択します。
  - 9 Dell Diagnostics (診断) プログラムの **Main Menu** が表示されたら、実行するテストを選びます (53 ページを参照)。

## Dell Diagnostics（診断）プログラムのメインメニュー

- 1 Dell Diagnostics（診断）プログラムのロードが終了すると、**Main Menu** 画面が表示されるので、必要なオプションのボタンをクリックします。

オプション	機能
Express Test	デバイスのクイックテストを実行します。通常このテストは10～20分かかり、お客様の操作は必要ありません。最初に <b>Express Test</b> を実行すると、問題を素早く特定できる可能性が増します。
Extended Test	デバイスの全体チェックを実行します。通常このテストは1時間以上かかり、質問に定期的に応答する必要があります。
Custom Test	特定のデバイスをテストします。実行するテストをカスタマイズできます。
Symptom Tree	検出した最も一般的な症状を一覧表示し、問題の症状に基づいたテストを選択することができます。

- 2 テスト実行中に問題が検出されると、エラーコードと問題の説明を示したメッセージが表示されます。エラーコードと問題の説明を記録し、画面の指示に従います。

エラー状態を解決できない場合は、デルにお問い合わせください（94 ページを参照）。



**メモ**：各テスト画面の上部には、コンピュータのサービスタグが表示されます。デルにお問い合わせいただく場合は、テクニカルサポート担当者がサービスタグをおたずねします。

- 3 **Custom Test** または **Symptom Tree** オプションからテストを実行する場合は、該当するタブをクリックします（詳細に関しては、以下の表を参照）。

タブ	機能
Results	テストの結果および発生したすべてのエラーの状態を表示します。
Errors	検出されたエラー状態、エラーコード、問題の説明が表示されます。
Help	テストについて説明します。また、テストを実行するための要件を示す場合もあります。
Configuration	選択したデバイスのハードウェア構成を表示します。 <b>Dell Diagnostics（診断）プログラム</b> では、セットアップユーティリティ、メモリ、および各種内部テストからすべてのデバイスの構成情報を取得して、画面左のウィンドウのデバイスリストに表示します。デバイス一覧には、コンピュータに取り付けられたすべてのコンポーネント名、またはコンピュータに取り付けられたすべてのデバイス名が表示されるとは限りません。
Parameters	テストの設定を変更して、テストをカスタマイズすることができます。

- 4 テストが完了し、**Dell Diagnostics**（診断）プログラムを『**Drivers and Utilities CD**』から実行中の場合、**CD** を取り出します。
- 5 テストが完了したら、テスト画面を閉じて **Main Menu** 画面に戻ります。**Dell Diagnostics**（診断）プログラムを終了しコンピュータを再起動するには、**Main Menu** 画面を閉じます。

## ドライバ

### ドライバとは？

ドライバは、プリンタ、マウス、キーボードなどのデバイスを制御するプログラムです。すべてのデバイスにはドライバプログラムが必要です。

ドライバは、デバイスとそのデバイスを使用するプログラム間の通訳のような役目をします。各デバイスは、そのデバイスのドライバだけが認識する専用のコマンドセットを持っています。

お使いの **Dell** コンピュータには、出荷時に必要なドライバおよびユーティリティがすでにインストールされていますので、新たにインストールしたり設定したりする必要はありません。



**注意：**『**Drivers and Utilities CD**』には、お使いのコンピュータに搭載されていないオペレーティングシステムのドライバも含まれている場合があります。インストールするソフトウェアがオペレーティングシステムに適切なものであることを確認してください。

キーボードドライバなど、ドライバの多くは **Microsoft® Windows®** オペレーティングシステムに付属しています。次の場合に、ドライバをインストールする必要があります。

- オペレーティングシステムのアップグレード
- オペレーティングシステムの再インストール
- 新しいデバイスの接続または取り付け

### ドライバの識別

デバイスに問題が発生した場合、次の手順を実行して問題の原因がドライバかどうかを判断し、必要に応じてドライバをアップデートしてください。

#### Windows XP

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの**ハードウェアタブ** をクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 一覧を下にスクロールして、デバイスアイコンに感嘆符（[!] の付いた黄色い丸）が付いているものがないか確認します。

デバイス名の横に感嘆符がある場合、以下に挙げるドライバの再インストールまたは新しいドライバのインストールが必要な場合があります。

### ドライバとユーティリティの再インストール



**注意：**デルサポートウェブサイト [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com) および『**Drivers and Utilities CD**』では、**Dell™** コンピュータに適切なドライバを提供しています。その他の媒体からのドライバをインストールした場合は、お使いのコンピュータが適切に動作しない恐れがあります。

### Windows XP デバイスドライバのロールバックの使い方

新たにドライバをインストールまたはアップデートしたためにシステムが不安定になった場合は、Windows XP のデバイスドライバのロールバックにより、以前にインストールしたバージョンのデバイスドライバに置き換えることができます。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **作業する分野を選びます** にある、**パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムのプロパティ** ウィンドウの **ハードウェア** タブをクリックします。
- 5 **デバイスマネージャ** をクリックします。
- 6 新しいドライバをインストールしたデバイスを右クリックしてから、**プロパティ** をクリックします。
- 7 **ドライバ** タブをクリックします。
- 8 **ドライバのロールバック** をクリックします。

ドライバのロールバックで問題が解決しない場合、システムの復元を使用して、新しいデバイスドライバをインストールする前の稼働状態にコンピュータを戻します。

### Drivers and Utilities CD の使い方

デバイスドライバのロールバックまたはシステムの復元 を使用しても問題が解決しない場合は、ドライバを『Drivers and Utilities CD』から再インストールしてください。

- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『Drivers and Utilities CD』を挿入します。  
ほとんどの場合、CD は自動的に実行されます。実行されない場合、Windows エクスプローラを起動し、CD ドライブのディレクトリをクリックして CD の内容を表示し、次に **autorcd.exe** ファイルをダブルクリックします。CD を初めて使用する場合、セットアップ ファイルをインストールするよう表示されることがあります。**OK** をクリックして、画面の指示に従って続行します。
- 3 ツールバーの **言語** ドロップダウンメニューから、ドライバまたはユーティリティに適切な言語（利用可能な場合）をクリックします。「Dell システムをお買い上げくださり、ありがとうございます」画面が表示されます。
- 4 **次へ** をクリックします。  
CD は自動的にハードウェアをスキャンして、お使いのコンピュータで使用されているドライバおよびユーティリティを検出します。
- 5 CD がハードウェアのスキャンを終了したら、他のドライバやユーティリティも検出できます。**検索基準** で、**システムモデル**、**オペレーティングシステム** および **トピック** のドロップダウンメニューから適切なカテゴリを選びます。  
コンピュータで使用される特定のドライバとユーティリティのリンクが表示されます。
- 6 特定のドライバまたはユーティリティのリンクをクリックして、インストールするドライバまたはユーティリティについての情報を表示します。
- 7 **インストール** ボタン（表示されている場合）をクリックして、ドライバまたはユーティリティのインストールを開始します。画面の指示に従ってインストールを完了します。

**インストール** ボタンが表示されない場合は、自動インストールを選択できません。インストールの手順については、該当する以下の手順を参照するか、または **解決** をクリックして展開手順に従い、**readme** ファイルを参照してください。

ドライバファイルへ移動するよう指示された場合、ドライバ情報ウィンドウで **CD** のディレクトリをクリックして、そのドライバに関連するファイルを表示します。

#### 手作業によるドライバの再インストール

- 1 前項で記述されているように、お使いのハードドライブにドライバファイルを解凍してから、**スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** を右クリックします。
- 2 **プロパティ** をクリックします。
- 3 **ハードウェア** タブをクリックして、**デバイスマネージャ** をクリックします。
- 4 ドライバをインストールするデバイスのタイプをダブルクリックします（例えば、**モデム** または **赤外線デバイス**）。
- 5 インストールするドライバのデバイスの名前をダブルクリックします。
- 6 **ドライバ** タブをクリックして、**ドライバの更新** をクリックします。
- 7 **一覧または特定の場所からインストールする (詳細)** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 8 **参照** をクリックして、あらかじめドライバファイルを解凍していた場所を参照します。
- 9 適切なドライバの名前が表示されたら、**次へ** をクリックします。
- 10 **完了** をクリックして、コンピュータを再起動します。

## ソフトウェアおよびハードウェアの非互換性の解決

オペレーティングシステムのセットアップ中にデバイスが検知されないか、検知されても間違っていて設定されている場合は、ハードウェアに関するトラブルシューティングを使って非互換性の問題を解決します。

ハードウェアに関するトラブルシューティングで非互換性の問題を解決するには、次の手順を実行します。

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **検索** フィールドで「ハードウェアに関するトラブルシューティング」と入力し、次に、矢印をクリックして検索を始めます。
- 3 **検索結果** の一覧で、**ハードウェアに関するトラブルシューティング** をクリックします。
- 4 **ハードウェアに関するトラブルシューティング** 一覧で、**コンピュータにあるハードウェアの競合を解決します** をクリックして、**次へ** をクリックします。

## Microsoft® Windows® XP システムの復元

Microsoft® Windows® XP オペレーティングシステムは、システムの復元を提供しています。システムの復元を使って、ハードウェア、ソフトウェア、または他のシステム設定への変更が原因でコンピュータの動作に不具合が生じた場合は、（データファイルに影響を与えずに）以前の動作状態に戻すことができます。システムの復元の使い方の詳細に関しては、**Windows** のヘルプとサポートセンターを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、**10** ページを参照してください。



- 🔍 **注意：**データファイルのバックアップを定期的に作成してください。システムの復元は、データファイルを監視したり、データファイルを復元したりできません。

## 復元ポイントの作成

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**ヘルプとサポート** をクリックします。
- 2 **システムの復元** をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。


## コンピュータを以前の動作状態に復元する

デバイスドライバをインストールした後に問題が発生した場合、まずデバイスドライバのロールバック（54 ページを参照）を使用してみます。それでも問題が解決しない場合は、システムの復元を使用します。

- 🔍 **注意：**コンピュータを前の動作状態に復元する前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。
- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
  - 2 **コンピュータを以前の状態に復元する** が選択されていることを確認して、**次へ** をクリックします。
  - 3 コンピュータを復元したいカレンダーの日付をクリックします。  
**復元ポイントの選択** 画面に、復元ポイントが選べるカレンダーが表示されます。復元ポイントが利用できる日付は太字で表示されます。
  - 4 復元ポイントを選択して、**次へ** をクリックします。  
カレンダーに復元ポイントが 1 つしか表示されない場合、その復元ポイントが自動的に選択されます。2 つ以上の復元ポイントが利用可能な場合は、希望の復元ポイントをクリックします。
  - 5 **次へ** をクリックします。  
システムの復元がデータの収集を完了したら、**復元は完了しました** 画面が表示され、コンピュータが自動的に再起動します。
  - 6 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

復元ポイントを変更するには、別の復元ポイントを使用してこの手順を繰り返すか、復元を元に戻します。

## 最後のシステムの復元を元に戻す

 **注意：**最後に行ったシステムの復元を取り消す前に、開いているファイルをすべて保存して閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してください。システムの復元が完了するまで、いかなるファイルまたはプログラムも変更したり、開いたり、削除したりしないでください。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** → **システムツール** とポイントしてから、**システムの復元** をクリックします。
- 2 **以前の復元を取り消す** を選択して、**次へ** をクリックします。
- 3 **次へ** をクリックします。  
**システムの復元** 画面が表示され、コンピュータが再起動します。
- 4 コンピュータが再起動したら、**OK** をクリックします。

## システムの復元の有効化

200 MB しか空容量のないハードディスクに Windows XP を再インストールした場合は、システムの復元は自動的に無効に設定されています。システムの復元が有効になっているか確認するには、次の手順を実行します。


- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **パフォーマンスとメンテナンス** をクリックします。
- 3 **システム** をクリックします。
- 4 **システムの復元** タブをクリックします。
- 5 **システムの復元を無効にする** にチェックマークが付いていないことを確認します。

## Microsoft® Windows® XP の再インストール

 **注意：**Windows XP を再インストールする場合、Windows XP Service Pack 1 (SP1) 以降を使用する必要があります。

### はじめに

新しくインストールしたドライバの問題を解消するために Windows XP オペレーティングシステムを再インストールする場合は、Windows XP のデバイスドライバのロールバックを試してみます (54 ページを参照)。デバイスドライバのロールバックを実行しても問題が解決されない場合、システムの復元 (57 ページを参照) を使用して、オペレーティングシステムを新しいドライバがインストールされる前の動作状態に戻してみます。

 **注意：**インストールを実行する前に、お使いのプライマリハードドライブ上のすべてのデータファイルのバックアップを作成しておいてください。通常のハードドライブの設定では、システムが最初に検出するドライブがプライマリハードドライブになります。

Windows XP を再インストールするには、以下のものがが必要です。


- Dell™ 『オペレーティングシステム CD』
- Dell 『Drivers and Utilities CD』


 **メモ：**『Drivers and Utilities CD』には、コンピュータの組み立て時に、工場ですべてインストールされたドライバが含まれています。『Drivers and Utilities CD』を使用して必要なドライバをロードします。

## Windows XP の再インストール

Windows XP を再インストールするには、次項にあるすべての手順を記載されている順番に実行します。

再インストール処理を完了するには、1～2 時間かかることがあります。オペレーティングシステムを再インストールした後、デバイスドライバ、アンチウイルスプログラム、およびその他のソフトウェアを再インストールする必要があります。

 **注意：**『オペレーティングシステム CD』は、Windows XP の再インストールのオプションを提供します。オプションはファイルを上書きして、ハードドライブにインストールされているプログラムに影響を与える可能性があります。このような理由から、デルのテクニカルサポート担当者の指示がない限り、Windows XP は再インストールしないでください。

 **注意：**Windows XP とのコンフリクトを防ぐため、システムにインストールされているアンチウイルスソフトウェアを無効にしてから Windows XP を再インストールしてください。手順については、ソフトウェアに付属されているマニュアルを参照してください。


### 『オペレーティングシステム CD』からの起動


- 1 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。
- 2 『オペレーティングシステム CD』を挿入します。Install Windows XP のメッセージが表示されたら、**Exit** をクリックします。
- 3 コンピュータを再起動します。
- 4 DELL™ ロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。  
オペレーティングシステムのロゴが表示された場合は、**Windows** のデスクトップが表示されるのを待ってから、コンピュータをシャットダウンして、再度試みます。
- 5 矢印キーを押して **CD-ROM** を選んでから <Enter> を押します。
- 6 Press any key to boot from CD というメッセージが表示されたら、任意のキーを押します。

### Windows XP のセットアップ

- 1 **セットアップの開始** 画面が表示されたら、<Enter> を押して続行します。
- 2 **Microsoft Windows ライセンス契約** 画面の内容を読み、キーボードの <F8> を押して、使用許諾契約書に同意します。
- 3 お使いのコンピュータに Windows XP がインストールされていて、現在の Windows XP データを復元したい場合は、**r** と入力して修復オプションを選び、CD を取り出します。
- 4 新たに Windows XP をインストールする場合は、<Esc> を押してオプションを選択します。
- 5 <Enter> を押してハイライト表示されたパーティション（推奨）を選び、画面の指示に従います。

**Windows XP セットアップ** 画面が表示され、Windows XP は、ファイルのコピーおよびデバイスのインストールを開始します。コンピュータは自動的に再起動します。

 **メモ：**ハードドライブの容量やコンピュータの速度によって、セットアップに要する時間は異なります。


 **注意：**次のメッセージが表示される場合、キーは押さないでください。Press any key to boot from the CD

- 6 **地域と言語のオプション** 画面が表示されたら、地域の設定を必要に応じてカスタマイズし、**次へ** をクリックします。

- 7 **ソフトウェアの個人用設定** 画面で、お名前と会社名（オプション）を入力して、**次へ** をクリックします。
- 8 **Windows XP Home Edition** を再インストールする場合、**コンピュータ名は何ですか？** ウィンドウが表示されたらコンピュータ名を入力し（または表示の名前を承認）、**次へ** をクリックします。  
**Windows XP Professional** を再インストールする場合、**コンピュータと Administrator** ウィンドウが表示されたら、コンピュータ名（または記載の名前を承認）およびパスワードを入力して、**次へ** をクリックします。
- 9 **モデムのダイヤル情報** 画面が表示されたら、必要な情報を入力し、**次へ** を押します。
- 10 **日付と時間の設定** ウィンドウに、日付、時間、タイムゾーンを入力して、**次へ** をクリックします。
- 11 **ネットワークの設定** 画面が表示されたら、**標準設定** をクリックして、**次へ** をクリックします。
- 12 Windows XP Professional の再インストール中に、ネットワーク設定についてより詳しい情報を求められたら、該当する項目を入力します。設定がわからない場合は、デフォルトの選択肢を選んでください。  
Windows XP は、オペレーティングシステムのコンポーネントをインストールし、コンピュータを設定します。コンピュータが自動的に再起動されます。



**注意：** 次のメッセージが表示される場合、キーは押さないでください。Press any key to boot from the CD

- 13 **Microsoft Windows へようこそ** 画面が表示されたら、**次へ** をクリックします。
  - 14 インターネットに接続する方法を指定してくださいというメッセージが表示されたら、**省略** をクリックします。
  - 15 **Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？** 画面が表示されたら、**いいえ、今回はユーザー登録しません** を選択し、**次へ** をクリックします。
  - 16 **このコンピュータを使うユーザーを指定してください** 画面が表示されたら、最大 5 人のユーザーを入力できます。
  - 17 **次へ** をクリックします。
  - 18 **完了** をクリックしてセットアップを完了し、CD を取り出します。
  - 19 『Drivers and Utilities CD』で適切なドライバを再インストールします（54 ページを参照）。
  - 20 アンチウイルスソフトウェアを再インストールします。
  - 21 プログラムを再インストールします。
-  **メモ：** Microsoft Office または Microsoft Works Suite プログラムを再インストールして有効にするには、Microsoft Office または Microsoft Works Suite の CD ケースの裏にある Product Key（プロダクトキー）が必要です。

## ドライブの問題



**警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**MICROSOFT® Windows® がドライブを認識しているか確認します** — スタート ボタンをクリックして、**マイ コンピュータ** をクリックします。フロッピードライブ、CD ドライブ、または DVD ドライブが一覧に表示されていない場合、アンチウイルスソフトウェアでウイルスチェックを行ない、ウイルスを調査して除去します。ウイルスが原因で Windows がドライブを検出できないことがあります。

#### **ドライブを確認します** —

- 元のフロッピーディスク、CD、または DVD に問題がないか確認するため、別のディスクを挿入します。
- 起動ディスクを挿入して、コンピュータを再起動します。

**ドライブまたはディスクをクリーニングします** — 手順については、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、10 ページを参照してください。


CD ドライブトレイのスピンドルに CD がきちんとはまっていることを確認します


ケーブルの接続を確認します

ハードウェアの非互換性を確認します

Dell Diagnostics (診断) プログラムを実行します (51 ページを参照)

## **CD および DVD ドライブの問題**

 **メモ**: 高速な CD ドライブや DVD ドライブの振動は一般的なもので、ノイズを引き起こすこともありません。CD や DVD ドライブの故障ではありません。

 **メモ**: 様々なファイル形式があるため、お使いの DVD ドライブでは再生できない DVD もあります。

## **CD/DVD-RW ドライブへの書き込み問題**

**その他のプログラムを閉じます** — CD/DVD-RW ドライブはデータを書き込む際に、一定のデータの流れを必要とします。データの流れが中断されるとエラーが発生します。CD/DVD-RW に書き込みを開始する前に、すべてのプログラムを終了してみます。

**CD/DVD-RW の書き込みの前に Windows のスタンバイモードを無効にします** — 省電力モードについては、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイル (10 ページを参照) を参照するか、Windows ヘルプとサポートセンターで「スタンバイ」というキーワードを検索します。

**書き込み処理速度を低く設定します** — お使いの CD または DVD 作成ソフトウェアのヘルプファイルを参照してください。

## CD、CD-RW、DVD、または DVD+RW ドライブトレイが取り出せない場合

- 1 コンピュータの電源が切れていることを確認します。
- 2 クリップをまっすぐに伸ばし、一方の端をドライブの前面にあるイジェクト穴に挿入します。トレイの一部が出てくるまでしっかりと押し込みます。
- 3 トレイが止まるまで慎重に引き出します。

## 聞き慣れない摩擦音またはきしむ音がする場合

- 実行中のプログラムによる音ではないことを確認します。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。

## ハードドライブの問題

コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます — ハードドライブが高温になっているため、オペレーティングシステムが起動しないことがあります。コンピュータが室温に戻るまで待ってから電源を入れます。

チェックディスクを実行します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックして、**マイコンピュータ** をクリックします。
- 2 **ローカルディスク C:** を右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックします。
- 4 **ツール** タブをクリックします。
- 5 **エラーチェック** で、**チェックする** をクリックします。
- 6 **不良なセクタをスキャンし回復する** をクリックします。
- 7 **開始** をクリックします。

## E-メール、モデム、およびインターネットの問題



**警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



**メモ:** モデムは必ずアナログ電話回線に接続してください。デジタル電話回線 (ISDN) に接続した場合、モデムは動作しません。

**MICROSOFT OUTLOOK® EXPRESS のセキュリティ設定を確認します** — E-メールの添付ファイルが開けない場合、次の手順を実行します。

- 1 Outlook Express で、**ツール**、**オプション** とクリックして、**セキュリティ** をクリックします。
- 2 **ウイルスの可能性のある添付ファイルを保存したり開いたりしない** をクリックして、チェックマークを外します。

電話線の接続を確認します —

電話ジャックを確認します —

モデムを直接電話ジャックへ接続します —

他の電話線を使用してみます —

- 電話線がモデムのジャックに接続されているか確認します。(コネクタは緑色のラベルかコネクタの絵柄の横にあります。)
- 電話線のコネクタをモデムに接続する際に、カチッという感触が得られることを確認します。
- モデムから電話線を外して、電話に接続します。電話の発信音を聞きます。
- 留守番電話、ファックス、サージプロテクタ、および電話線分岐タップなど同じ回線に接続されている電話機器を取り外し、電話を使ってモデムを直接壁の電話ジャックに接続します。3 m 以内の電話線を使用します。

MODEM HELPER 診断プログラムを実行します — **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** をポイントして、**Modem Helper** をクリックします。画面の指示に従って、モデムの問題を識別し、その問題を解決します。(Modem Helper は、すべてのコンピュータで利用できるわけではありません。)

モデムが WINDOWS と通信しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
  - 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
  - 3 **電話とモデムのオプション** をクリックします。
  - 4 **モデム** タブをクリックします。
  - 5 モデムの COM ポートをクリックします。
  - 6 Windows がモデムを検出したか確認するため、**プロパティ** をクリックし、**診断** タブをクリックして、**モデムの照会** をクリックします。
- すべてのコマンドに応答が表示されている場合、モデムに問題はありません。

インターネットへの接続を確認します — ISP (インターネットサービスプロバイダ) との契約が済んでいることを確認します。E-メールプログラム Outlook Express を起動し、**ファイル** をクリックします。**オフライン作業** の横にチェックマークが付いている場合、チェックマークをクリックし、マークを外して、インターネットに接続します。問題がある場合、ご利用のインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

コンピュータでスパイウェアをスキャンするには — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウイルスプログラムを使用して (ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません)、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

## エラーメッセージ

 **警告** : 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

メッセージが一覧にない場合、オペレーティングシステムまたはメッセージが表示された際に実行していたプログラムのマニュアルを参照してください。

**コマンド名またはファイルが違う** — 正しいコマンドを入力したか、スペースの位置は正しいか、パス名は正しいかを確認します。

**CD ドライブコントローラエラー** — CD ドライブは、コンピュータからコマンドに応答しません。60 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

**データエラー** — ハードドライブからデータを読むことができません。60 ページの「ドライブの問題」を参照してください。

**コピーするファイルが大きすぎて受け側のドライブに入りません** — 指定のディスクにコピーするにはファイルサイズが大きすぎます。またはディスクがいっぱいで入りません。他のディスクにコピーするか容量の大きなディスクを使用します。

**ファイル名には次の文字は使用できません：¥/:\*?"<>|** — これらの記号をファイル名に使用しないでください。

**起動用メディアを挿入します** — オペレーティングシステムが起動用以外の CD から起動しようとしていません。CD を挿入します。

**メモリまたはリソースが不足しています。いくつかのプログラムを閉じてもう一度やり直します** — 開いているプログラムの数が多すぎます。すべてのウィンドウを閉じ、使用するプログラムのみを開きます。

**オペレーティングシステムが見つかりません** — デルにお問い合わせください (94 ページを参照)。

**必要な .DLL ファイルが見つかりません** — 実行しようとしているプログラムに必要なファイルがありません。プログラムを削除してから、再インストールします。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プログラムの追加と削除** をクリックします。
- 3 削除したいプログラムを選択します。
- 4 **削除** ボタンまたは **変更と削除** ボタンをクリックし、画面の指示メッセージに従います。
- 5 インストール手順については、プログラムに付属されているマニュアルを参照してください。

**X:\にアクセスできません。デバイスの準備ができていません** — ドライブにディスクを入れ、もう一度試してみます。



## IEEE 1394 デバイスの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

IEEE 1394 デバイスが正しくコネクタに挿入されているか確認します

Windows が IEEE 1394 デバイスを認識しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。  
IEEE 1394 デバイスが一覧に表示されている場合、Windows はデバイスを認識しています。


デルから購入した IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —

デル以外から購入した IEEE 1394 デバイスに問題がある場合 —

デルにお問い合わせになるか (94 ページを参照)、IEEE 1394 デバイスの製造元にお問い合わせください。

## キーボードの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ**：MS-DOS<sup>®</sup> モードで動作しているとき、または Dell Diagnostics (診断) プログラム または セットアップユーティリティを実行するときは、内蔵キーボードを使用します。外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

### 外付けキーボードの問題

 **メモ**：外付けキーボードをコンピュータに接続しても、内蔵キーボードの機能はそのまま使用できます。

**キーボードケーブルを確認します** — コンピュータをシャットダウンします。キーボードケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

キーボード延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してキーボードを直接コンピュータに接続します。

**外付けキーボードを確認します** —

- 1 コンピュータをシャットダウンして、1 分たってから再度電源を入れます。
- 2 起動ルーチン中にキーボードの Num Lock、Caps Lock、および Scroll Lock のライトが点灯していることを確認します。
- 3 Windows デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム、アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。
- 4 外付けキーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

これらの手順を確認ができない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。

**外付けキーボードによる問題であることを確認するため、内蔵キーボードを確認します —**


- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 2 外付けキーボードを取り外します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。
- 4 Windows デスクトップから、**スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム、アクセサリ** の順にポイントして、**メモ帳** をクリックします。
- 5 内蔵キーボードで何文字か入力し、画面に表示されることを確認します。

内蔵キーボードでは文字が表示されるのに外付けキーボードでは表示されない場合、外付けキーボードに問題がある可能性があります。デルにお問い合わせください（94 ページを参照）。

**入力時の問題**

**テンキーパッドを無効にします —** 文字の代わりに数字が表示される場合、<Num Lk> を押して、テンキーパッドを無効にします。NumLock ライトが点灯していないことを確認します。

**ロックアップおよびソフトウェアの問題**

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**コンピュータが起動しない**

AC アダプタがコンピュータとコンセントにしっかりと接続されているか確認します

**コンピュータの応答が停止した**

 **注意：** オペレーティングシステムのシャットダウンが実行できない場合、データを消失する恐れがあります。

**コンピュータの電源を切ります —** キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

**プログラムの応答が停止した****プログラムを終了します —**

- 1 <Ctrl><Shift><Esc> を同時に押します。
- 2 **アプリケーション** をクリックします。
- 3 反応がなくなったプログラムを選択します。
- 4 **タスクの終了** をクリックします。

## プログラムが繰り返しクラッシュする



**メモ:** 通常、ソフトウェアのインストール手順は、そのマニュアルまたはフロッピーディスクか CD に収録されています。

**ソフトウェアのマニュアルを参照します** — 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

## プログラムが以前の Windows オペレーティングシステム用に設計されている

**プログラム互換性ウィザードを実行します** — Windows XP には、Windows XP オペレーティングシステムとは異なるオペレーティングシステムに近い環境で、プログラムが動作するよう設定できるプログラム互換性ウィザードがあります。

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**すべてのプログラム** → **アクセサリ** の順にポイントして、**プログラム互換性ウィザード** をクリックします。
- 2 プログラム互換性ウィザードの開始画面で、**次へ** をクリックします。
- 3 画面に表示される指示に従ってください。

## 画面が青色（ブルースクリーン）になった

**コンピュータの電源を切ります** — キーボードのキーを押したり、マウスを動かしてもコンピュータから応答がない場合、コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを 8 ~ 10 秒以上押します。次に、コンピュータを再起動します。

## その他のソフトウェアの問題

**問題のあるソフトウェアのマニュアルを参照するか、またはトラブルシューティングの詳細について、そのソフトウェアの製造元に問い合わせます** —

- コンピュータにインストールされているオペレーティングシステムと互換性があるか確認します。
- コンピュータがソフトウェアを実行するのに必要な最小ハードウェア要件を満たしているか確認します。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- プログラムが正しくインストールおよび設定されているか確認します。
- デバイスドライバがプログラムとコンフリクトしていないか確認します。
- 必要に応じて、プログラムをアンインストールしてから再インストールします。

すぐにお使いのファイルのバックアップを作成します

ウイルススキャンプログラムを使って、ハードドライブ、フロッピーディスク、または CD を調べます

開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了して、スタートメニューからコンピュータをシャットダウンします

**コンピュータでスパイウェアをスキャンするには** — コンピュータのパフォーマンスが遅いと感じたり、ポップアップ広告を受信したり、インターネットとの接続に問題がある場合は、スパイウェアに感染している恐れがあります。アンチスパイウェア保護を含むアンチウィルスプログラムを使用して（ご使用のプログラムをアップグレードする必要があるかもしれません）、コンピュータのスキャンを行い、スパイウェアを取り除いてください。

**DELL DIAGNOSTICS（診断）プログラムを実行します（51 ページを参照）** — すべてのテストが正常に終了したら、不具合はソフトウェアの問題に関連しています。

## メモリの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**メモリが不足しているというメッセージが表示された場合** —

- 作業中のすべてのファイルを保存してから閉じ、使用していない開いているすべてのプログラムを終了して、問題が解決するか調べます。
- メモリの最小要件については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。必要であれば、追加のメモリを取り付けてください（79 ページを参照）。
- メモリモジュールを装着しなおし（79 ページを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（51 ページを参照）。

**メモリにその他の問題がある場合** —

- メモリモジュールを装着しなおし（79 ページを参照）、コンピュータがメモリと正常に通信しているか確認します。
- メモリの取り付けガイドラインに従っているか確認します（79 ページを参照）。
- Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（51 ページを参照）。

## ネットワークの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**ネットワークケーブルコネクタを確認します** — ネットワークケーブルをコンピュータ背面のネットワークコネクタおよびネットワークジャックの両方に、しっかりと差し込まれているか確認します。

**ネットワークコネクタのネットワークインジケータを確認します** — インジケータが点灯しない場合、ネットワークと通信していないことを示しています。ネットワークケーブルを取り替えます。

コンピュータを再起動して、再度ネットワークにログオンし直します

**ネットワークの設定を確認します** — ネットワーク管理者、またはお使いのネットワークを設定した方にお問い合わせになり、ネットワークへの接続設定が正しく、ネットワークが正常に機能しているか確認します。

## PC カードの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

**PC カードを確認します** — PC カードが正しくコネクタに挿入されているか確認します。

**WINDOWS でカードが認識されているか確認します** — Windows タスクバーにある **ハードウェアの安全な取り外し** アイコンをダブルクリックします。カードが一覧表示されていることを確認します。

**デルから購入した PC カードに問題がある場合** — デルにお問い合わせください（94 ページを参照）。

**デル以外から購入した PC カードに問題がある場合** — PC カードの製造元にお問い合わせください。

## 電源の問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ**：スタンバイモードの詳細については、『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照してください。ヘルプファイルにアクセスするには、10 ページを参照してください。

**電源ライトを確認します** — 電源ライトが点灯または点滅している場合は、コンピュータに電源が入っています。電源ライトが点滅している場合、コンピュータはスタンバイモードに入っています。電源ボタンを押してスタンバイモードを終了します。ライトが消灯している場合、電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。

**バッテリーを充電します** — バッテリーが充電されていないことがあります。

- 1 バッテリーを取り付けなおします。
- 2 AC アダプタをコンピュータとコンセントに接続して使用します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。

**バッテリーの温度を確認してください** — バッテリーの温度が 0 °C 未満では、コンピュータは起動しません。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**AC アダプタを確認します** — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

**コンピュータを直接コンセントへ接続します** — お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

**電氣的な妨害を除去します** — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。


**電源のプロパティを調整します** — 『Dell Inspiron ヘルプ』ファイルを参照するか、ヘルプとサポートセンターで「スタンバイ」というキーワードを検索します。ヘルプにアクセスするには、10 ページを参照してください。


**メモリモジュールを再度取り付けます** — コンピュータの電源ライトは点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されない場合、メモリモジュールを再度取り付けます（79 ページ参照）。

## コンピュータへの十分な電力の確保

お使いのコンピュータは、65 W の AC アダプタを使用するように設計されています。

## プリンタの問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

 **メモ：** プリンタのテクニカルサポートが必要な場合、プリンタの製造元にお問い合わせください。

**プリンタのマニュアルを確認します** — プリンタのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、プリンタのマニュアルを参照してください。

プリンタの電源が入っているかどうか確認します

**プリンタのケーブル接続を確認します** —

- ケーブル接続の情報については、プリンタのマニュアルを参照してください。
- プリンタケーブルがプリンタおよびコンピュータにしっかりと接続されているか確認します（23 ページを参照）。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

#### Windows がプリンタを認識しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **インストールされているプリンタまたは FAX プリンタを表示する** をクリックします。  
プリンタが表示されたら、プリンタのアイコンを右クリックします。
- 3 **プロパティ** をクリックして、**ポート** タブをクリックします。USB プリンタの場合、**印刷先のポート** が **USB** に設定されているか確認します。

**プリンタドライバを再インストールします** — 手順については、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。

## スキャナーの問題



**警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



**メモ**：スキャナーのテクニカルサポートについては、スキャナーの製造元にお問い合わせください。

**スキャナーのマニュアルを確認します** — スキャナーのセットアップおよびトラブルシューティングの詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。

**スキャナーのロックを削除します** — お使いのスキャナーに固定タブやボタンがある場合、ロックが解除されているか確認します。

コンピュータを再起動して、もう一度スキャンしてみます。

#### ケーブル接続を確認します —

- ケーブル接続の詳細については、スキャナーのマニュアルを参照してください。
- スキャナーのケーブルがスキャナーとコンピュータにしっかりと接続されているか確認します。

#### MICROSOFT WINDOWS がスキャナーを認識しているか確認します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **スキャナとカメラ** をクリックします。  
お使いのスキャナーが一覧に表示されている場合、Windows はスキャナーを認識しています。

**スキャナードライバを再インストールします** — 手順については、スキャナーに付属しているマニュアルを参照してください。

## サウンドおよびスピーカーの問題

 **警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。


### 内蔵スピーカーから音が出ない場合

**WINDOWS で音量を調節します** — 画面右下にある黄色のスピーカーのアイコンをダブルクリックして、音量つまみを調節してください。音量が上げてあることと、ミュートが選択されていないことを確認します。音の歪みを除去するために音量、低音または高音の調節をします。

**キーボードのショートカットを使用して音量を調節します** — <Fn><F5> を押して内蔵スピーカーを無効（ミュート）、または再び有効にします。

**サウンド（オーディオ）ドライバを再インストールします** — 54 ページの「ドライバとユーティリティの再インストール」を参照してください。

### 外付けスピーカーから音が出ない場合

 **メモ**：MP3 プレーヤーの音量調節は、Windows の音量設定より優先されることがあります。MP3 の音楽を聴いていた場合、プレーヤーの音量が十分か確認してください。

**サブウーハーおよびスピーカーの電源が入っているか確認します** — スピーカーに付属しているセットアップ図を参照してください。スピーカーにボリュームコントロールが付いている場合、音量、低音、または高音を調整して音の歪みを解消します。

**WINDOWS のボリュームコントロールを調節します** — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあることと、ミュートが選択されていないことを確認します。

**ヘッドフォンをヘッドフォンコネクタから取り外します** — コンピュータの正面パネルにあるヘッドフォンコネクタにヘッドフォンを接続すると、自動的にスピーカーからの音声は聞こえなくなります。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの別の電化製品で試して、コンセントが機能しているか確認します。

**電氣的な妨害を解消します** — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、またはハロゲンランプの電源を切ってみます。

**オーディオドライバを再インストールします（54 ページを参照）**

**Dell Diagnostics（診断）プログラムを実行します（51 ページを参照）**



## ヘッドフォンから音が出ない場合

**ヘッドフォンのケーブル接続を確認します** — ヘッドフォンケーブルがヘッドフォンコネクタにしっかりと接続されているか確認します（14 ページを参照）。

**Windows で音量を調節します** — 画面右下角にあるスピーカーのアイコンをクリックまたはダブルクリックします。音量が上げてあることと、ミュートが選択されていないことを確認します。

## タッチパッドまたはマウスの問題

**タッチパッドの設定を確認します** —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックして、**プリンタとその他のハードウェア** をクリックします。
- 2 **マウス** をクリックします。
- 3 設定を変更してみます。

**マウスケーブルを確認します** — コンピュータをシャットダウンします。マウスケーブルを取り外し、損傷していないか確認して、ケーブルをしっかりと接続しなおします。

マウス延長ケーブルを使用している場合、延長ケーブルを外してマウスを直接コンピュータに接続します。

**マウスによる問題であることを確認するため、タッチパッドを確認します** —

- 1 コンピュータをシャットダウンします。
- 2 マウスを外します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。
- 4 **Windows** デスクトップで、タッチパッドを使用してカーソルを動かし、アイコンを選択して開きます。

タッチパッドが正常に動作する場合、マウスが不良の可能性があります。

**タッチパッドドライバを再インストールします** — 54 ページの「ドライバとユーティリティの再インストール」を参照してください。

## ビデオおよびディスプレイの問題

 **警告：** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

### 画面に何も表示されない場合



**メモ：** お使いのコンピュータに対応する解像度よりも高い解像度を必要とするプログラムをご使用の場合は、外付けモニターをコンピュータに取り付けることをお勧めします。

**バッテリーを確認します** — コンピュータをバッテリーで動作している場合は、充電されたバッテリーの残量が消費されています。AC アダプタを使ってコンピュータをコンセントに接続して、コンピュータの電源を入れます。

**コンセントを確認します** — 電気スタンドなどの電化製品でコンセントに問題がないか確認します。

**AC アダプタを確認します** — AC アダプタケーブルの接続を確認します。AC アダプタにライトがある場合、ライトが点灯しているか確認します。

**コンピュータを直接コンセントへ接続します** — お使いの電源保護装置、電源タップ、および延長コードを取り外して、コンピュータの電源が入るか確認します。

**電源のプロパティを調整します** — Windows のヘルプとサポートセンターで「スタンバイ」というキーワードを検索します。

**画面モードを切り替えます** — コンピュータが外付けモニターに接続されている場合は、<Fn><F8> を押して画面モードをディスプレイに切り替えます。

### 画面が見づらい場合


**輝度を調節します** — <Fn> と上下矢印キーを押します。

**外付けのサブウーハーをコンピュータまたはモニターから離します** — 外付けスピーカーにサブウーハーが備わっている場合は、サブウーハーをコンピュータまたは外付けモニターから 60 センチ以上離します。

**電氣的な妨害を除去します** — コンピュータの近くで使用している扇風機、蛍光灯、ハロゲンランプ、またはその他の機器の電源を切ります。

**コンピュータの向きを変えます** — 画質低下の原因となる日光の反射を避けます。

#### Windows のディスプレイ設定を調節します —

- 1 **スタート** ボタンをクリックし、**コントロールパネル** をクリックします。
- 2 **デスクトップの表示とテーマ** をクリックします。
- 3 変更したいエリアをクリックするか、 アイコンをクリックします。
- 4 **画面の解像度** と **画面の色** で、別の設定にしてみます。

「エラーメッセージ」を参照してください — エラーメッセージが表示される場合は、63 ページを参照します。

### 画面の一部しか表示されない場合

#### 外付けモニターを接続します —

- 1 コンピュータをシャットダウンして、外付けモニターをコンピュータに取り付けます。
- 2 コンピュータおよびモニターの電源を入れ、モニターの輝度およびコントラストを調整します。

外付けモニターが動作する場合、コンピュータのディスプレイまたはビデオコントローラが不良の可能性があります。デルにお問い合わせください (94 ページを参照)。



## 部品の拡張および交換

### はじめに

本章では、コンピュータのコンポーネントの取り付けおよび取り外しの手順について説明します。特に指示がない限り、それぞれの手順では以下の条件を満たしていることを前提とします。

- 77 ページの「コンピュータの電源を切る」と 77 ページの「コンピュータ内部の作業を始める前に」の手順をすでに完了していること。
- お使いの Dell™ 『製品情報ガイド』の安全性に関する情報を読んでいること。
- 取り外しの手順と逆の手順を行うことで部品の取り付けが可能であること。

### 奨励するツール

このマニュアルで説明する操作には、以下のツールが必要です。

- 細めのマイナスドライバ
- プラスドライバ
- フラッシュ BIOS アップデートプログラムのフロッピーディスクまたは CD

### コンピュータの電源を切る



**注意：**データの損失を避けるため、コンピュータの電源を切る前に、開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了します。

- 1 オペレーティングシステムをシャットダウンします。
  - a 開いているすべてのプログラムやファイルを保存して終了します。**スタート** ボタンをクリックして、**終了オプション** をクリックします。
  - b **コンピュータの電源を切る** ウィンドウで、**電源を切る** をクリックします。  
オペレーティングシステムのシャットダウンプロセスが終了した後に、コンピュータの電源が切れます。
- 2 コンピュータおよび接続されているデバイスの電源が切れていることを確認します。オペレーティングシステムをシャットダウンしたときに、コンピュータおよび接続デバイスの電源が自動的に切れなかった場合は、電源ボタンを 4 秒間押し続けます。

### コンピュータ内部の作業を始める前に

コンピュータの損傷を防ぎ、ご自身の身体の安全を守るために、以下の点にご注意ください。



**警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。



**警告：**部品やカードの取り扱いには十分注意してください。カード上の部品や接続部分には触れないでください。カードを持つ際は縁を持つか、金属製の取り付けブラケットの部分を持ってください。プロセッサのようなコンポーネントは、ピンの部分ではなく端を持つようにしてください。

- ➡ **注意：**コンピュータシステムの修理は、資格を持っているサービス技術者のみが行ってください。デルで認められていない修理による損傷は、保証の対象となりません。
- ➡ **注意：**ケーブルを外すときは、コネクタまたはストレインリリーフループの部分を持ち、ケーブル自身を引っ張らないでください。ロックタブ付きのコネクタがあるケーブルもあります。このタイプのケーブルを抜く場合、ロックタブを押し入れてからケーブルを抜きます。コネクタを抜く際は、コネクタのピンを曲げないようにまっすぐに引き抜きます。また、ケーブルを接続する前に、両方のコネクタが正しい向きに揃っているか確認します。
- ➡ **注意：**コンピュータの損傷を防ぐため、コンピュータ内部の作業を始める前に、次の手順を実行します。
  - 1 コンピュータのカバーに傷がつかないように、作業台が平らであり、汚れていないことを確認します。
  - 2 コンピュータの電源を切ります（77 ページを参照）。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを外すには、まずネットワークケーブルをコンピュータから外し、次に、壁のネットワークジャックから外します。
  - 3 電話回線や通信回線のケーブルをコンピュータから外します。
  - 4 コンピュータと取り付けられているすべてのデバイスをコンセントから取り外し、電源ボタンを押して、システム基板の静電気を除去します。
- ➡ **注意：**ネットワークケーブルを接続するには、まずネットワークケーブルを壁のネットワークジャックに差し込み、次に、コンピュータに差し込みます。
  - 5 PC カードスロットに取り付けられている PC カードを取り外します。
  - 6 ディスプレイを閉じ、コンピュータを平らな作業台に裏返します。
- ➡ **注意：**システム基板の損傷を防ぐため、コンピュータで作業を行う前にメインバッテリーを取り外してください。
  - 7 コンピュータの底面にあるバッテリーベイリリースラッチをスライドしたまま、バッテリーをバッテリーベイから取り外します。



- 8 取り付けられているすべてのモジュールを取り外します。

## メモリ


システム基板にメモリモジュールを取り付けると、コンピュータのメモリ容量を増やすことができます。お使いのコンピュータに対応するメモリの情報については、87ページの「仕様」を参照してください。必ずお使いのコンピュータ用のメモリモジュールのみを取り付けてください。

 **メモ:** デルから購入されたメモリモジュールは、お使いのコンピュータの保証対象に含まれます。

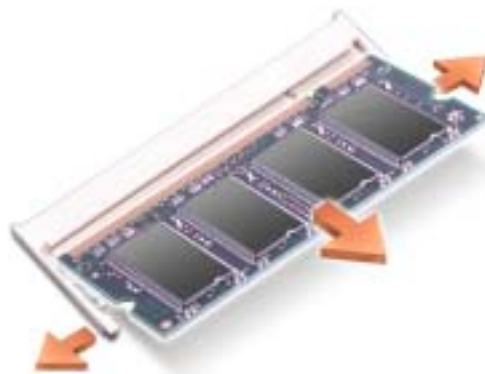
 **警告:** 本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 77ページの「はじめに」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータを裏返し、メモリモジュールカバーの拘束ネジを緩め、カバーを取り外します。



 **注意:** メモリモジュールコネクタへの損傷を防ぐため、メモリモジュールの固定クリップを広げるためにツールを使用しないでください。

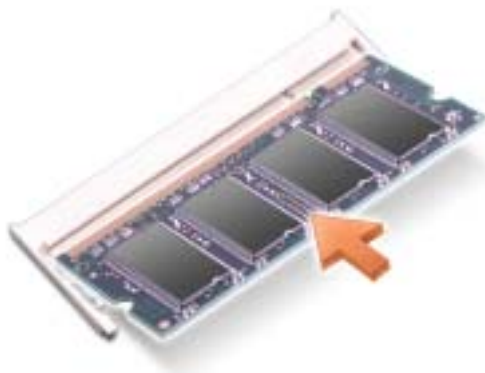
- 3 メモリモジュールを取り付けなおすには、現在あるモジュールを取り外さなければなりません。
  - a メモリモジュールコネクタの両端にある固定クリップをモジュールが持ち上がるまで指先で慎重に広げます。
  - b モジュールをコネクタから取り外します。



4 身体の静電気を除去してから、新しいメモリモジュールを取り付けます。

**メモ:** メモリモジュールが正しく取り付けられていない場合、コンピュータは正常に起動しません。この場合、エラーメッセージは表示されません。

- a モジュールエッジコネクタの切り込みをコネクタスロットのタブに合わせます。
- b モジュールを 45 度の角度でしっかりとスロットに挿入し、メモリモジュールがカチッと所定の位置に収まるまで押し下げます。カチッという感触が得られない場合、モジュールを取り外し、もう一度取り付けます。



5 カバーを取り付けます。

**注意:** カバーが閉めにくい場合、モジュールを取り外して、もう一度取り付けます。無理にカバーを閉じると、コンピュータを破損する恐れがあります。

6 バッテリーをバッテリーベイに取り付けるか、または AC アダプタをコンピュータおよびコンセントに接続します。

7 コンピュータの電源を入れます。

コンピュータは起動時に、増設されたメモリを検出してシステム構成情報を自動的に更新します。



コンピュータに取り付けられたメモリ容量を確認するには、**スタート** ボタンをクリックし、**ヘルプとサポート** をクリックして、**コンピュータの情報** をクリックします。

## モデム

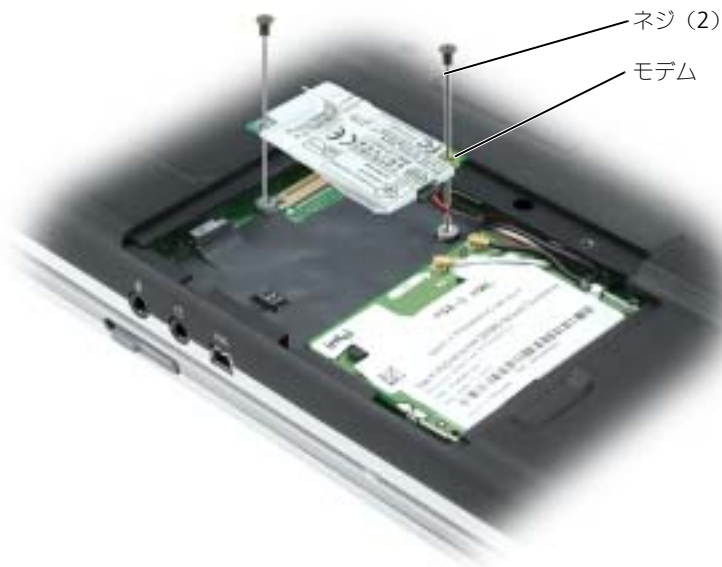
コンピュータの注文時にオプションのモデムも注文された場合、モデムは既に取り付けられています。

**警告**：本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 77 ページの「はじめに」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータを裏返し、ミニ PCI カードとモデムカバーの固定ネジを緩めます。
- 3 指をカバーの下のへこんだ部分に置き、カバーを持ち上げて開きます。



- 4 モデムが取り付けられていない場合、手順 5 に進みます。モデムを交換する場合、既存のモデムを取り外します。
  - a モデムをシステム基板に固定しているネジを外し、横に置きます。
  - b 取り付けられているプルタブをまっすぐ持ち上げ、モデムをシステム基板上的コネクタから引き上げて、モデムケーブルを取り外します。



5 モデムケーブルを取り替えるモデムに取り付けます。

**注意：**コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。

6 モデムとネジ穴を合わせて、モデムをシステム基板のコネクタに押し込みます。

7 モデムをシステム基板に固定するネジを取り付けます。

8 カバーを取り付けます。

## ミニ PCI カード

**メモ：**2.4 GHz ミニ PCI カードは、ユーザーによって取り外し、取り付けが可能です。

お使いのコンピュータで使用するミニ PCI カードを注文された場合は、カードはすでに取り付けられています。

**警告：**本項の手順を開始する前に、『製品情報ガイド』の安全手順に従ってください。

- 1 77 ページの「はじめに」の手順に従って操作してください。
- 2 コンピュータを裏返します。
- 3 カバーの両方の拘束ネジを緩めてカバーを取り外します。



- 4 ミニ PCI カードがまだ取り付けられていない場合、手順 5 に進みます。ミニ PCI カードを交換する場合、既存のカードを取り外します。
  - a ミニ PCI カードを、取り付けられているすべてのケーブルから取り外します。
  - b ミニ PCI カードを取り外すには、カードがわずかに浮き上がるまで金属製の固定タブを広げます。
  - c ミニ PCI カードをコネクタから持ち上げます。



- ① **注意：**コネクタは、正しく取り付けられるよう設計されています。抵抗を感じる場合は、コネクタを確認しカードを再調整してください。
- 5 ミニ PCI カードとコネクタの角度が 45 度になるように合わせて、ミニ PCI カードをカチッとしっかりはまるまでコネクタに押し込みます。



- ➡ **注意：**ミニ PCI カードの損傷を避けるため、カードの上や下に決してケーブルを置かないでください。
- 6 アンテナケーブルをミニ PCI カードのコネクタに接続します。



- 7 カバーとネジを取り付けます。



# 付録

## 仕様

---

### プロセッサ

---

プロセッサの種類	Intel® Pentium® M または Intel Celeron® M プロセッサ
外付けバスの周波数	400 MHz

---

### システム情報

---

システムチップセット	Intel 855 GME
データバス幅	64 ビット
DRAM バス幅	64 ビット
プロセッサアドレスバス幅	32 ビット
フラッシュ EPROM	4 Mb
グラフィックスバス	64 ビット
PCI バス	32 ビット

---

### PC カード

---

カードバスコントローラ	Texas Instruments PCI 7420 カードバスコントローラ
PC カードコネクタ	1 (タイプ I または タイプ II カード 1 枚に対応)
サポートするカード	3.3 V および 5 V
PC カードコネクタサイズ	68 ピン
データ幅 (最大)	PCMCIA 16 ビット カードバス 32 ビット

---

### メモリ

---

メモリモジュールコネクタ	SODIMM ソケット × 2 (ユーザーがアクセス可能なソケット × 1)
メモリモジュールの容量	128 MB、256 MB、512 MB、および 1 GB
メモリのタイプ	3.3 V DDR SODIMM
最小メモリ	256 MB

<b>メモリ (続き)</b>	
最大搭載メモリ	2 GB
<b>ポートとコネクタ</b>	
ビデオ	15 ピンコネクタ (メス)
オーディオ	マイクコネクタ、ステレオヘッドフォン/スピーカーコネクタ
USB (2)	4 ピン USB 2.0 準拠コネクタ
モデム	RJ-11 ポート
ネットワークアダプタ	RJ-45 ポート
IEEE 1394	4 ピン シリアルコネクタ
S ビデオ TV 出力	7 ピンミニ DIN コネクタ
ミニ PCI	タイプ IIIA ミニ PCI カードスロット
SD (Secure Digital)	SD スロット
<b>通信</b>	
モデム:	
タイプ	v.92 56K MDC
コントローラ	ソフトモデム
インタフェース	内部 AC '97 バス
ネットワークアダプタ	システム基板にある 10/100 Ethernet LAN
ワイヤレス	内蔵 ミニ PCI Wi-Fi サポート
<b>ビデオ</b>	
ビデオタイプ	Intel UMA 内蔵
ビデオコントローラ	Intel 855GME 内蔵チップセット
ビデオメモリ	デジタルビデオメモリ (DVM) テクノロジ; 64 MB までの共有メモリ
LCD インタフェース	LVDS
テレビサポート	S ビデオモードの NTSC または PAL



---

## オーディオ

---

オーディオタイプ	AC'97 (ソフトオーディオ)
オーディオコントローラ	SigmaTel STAC 9750
ステレオ変換	18ビット (デジタル変換、アナログ変換)
インタフェース:	
内蔵	PCI バス / AC'97
外部	マイク入力コネクタ、ステレオヘッドフォン / スピーカーコネクタ
スピーカー	3 Ω スピーカー × 2
内蔵スピーカーアンプ	2 W チャンネル (3Ω)
ボリュームコントロール	ショートカットキー、プログラムメニュー

---

## ディスプレイ

---

タイプ (アクティブマトリックス TFT)	WXGA
寸法:	
縦幅	163.2 mm
横幅	261.12 mm
対角線	307.93 mm
最大解像度	1280 × 800、16,700,000 色
応答時間 (標準)	立ち上がり: 25 ミリ秒 (最大)
リフレッシュレート	60 Hz
動作角度	0° (閉じた状態) ~ 180°
ピクセルピッチ:	0.24 mm × 0.24 mm
消費電力 (バックライトのパネル) (標準):	5.7 W
コントロール	輝度は <Fn> 上下矢印キーのショートカット キーによって調節可能。

---

## キーボード

---

キー数	82 (アメリカ、カナダ)、86 (ヨーロッパ)、 83 (日本)
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

---

**タッチパッド**


---

X/Y 位置解像度 (グラフィックス テーブルモード)	240 cpi
寸法 :	
横幅	60.75 mm (センサー感知領域)
縦幅	44.75 mm の長方形

---

**バッテリー**


---

タイプ	8 セルスマートリチウムイオン 4 セルスマートリチウムイオン
寸法	
長さ	40.88 mm (8 セル) 23.8 mm (4 セル)
縦幅	25.4 mm
横幅	272.4 mm
重量	0.45 kg (8 セル) 概算 0.24 kg (4 セル) 概算 重量は構成や製造時の変動によって異なります。
電圧	14.8 VDC
充電時間 (概算) :	
電源が入っている場合	2.5 時間
電源が切れている場合	1.5 時間
動作時間	バッテリー駆動時間は動作状況によって変わり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。 バッテリーの動作時間の詳細に関しては、27 ページの「バッテリーの使い方」を参照してください。
寿命 (概算)	500 サイクル (充電 / 放電)
温度範囲 :	
動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C

---

**AC アダプタ**

---

入力電圧	90 ~ 240 VAC
入力電流 (最大)	1.5 A
入力周波数	47 ~ 63 Hz
出力電流	4.5 A (4 秒パルスのとき最大) ; 3.3 A (継続)
出力電圧	65 W
定格出力電圧	19.5 VDC
寸法 :	
縦幅	27.94 mm
横幅	58.42 mm
長さ	133.85 mm
重量 (ケーブル含む)	0.4 kg
温度範囲 :	
動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C

---

**サイズと重量**

---

縦幅	32 mm
横幅	297 mm
長さ	215 mm
重量 :	重量は構成や製造時の変動によって異なります。
8 セルバッテリーおよび TravelLite トラベルモジュールを取り付けた場合	2.0 kg 概算
8 セルバッテリーおよび DVD を取 り付けた場合	2.2 kg 概算
4 セルバッテリーおよび TravelLite トラベルモジュールを取り付けた場合	1.7 kg 概算
4 セルバッテリーおよび DVD を取 り付けた場合	1.9 kg 概算

---

**環境**


---

温度範囲：

動作時	0 ~ 35 °C
保管時	-40 ~ 65 °C

相対湿度（最大）：

動作時	10 ~ 90 %（結露しないこと）
保管時	5 ~ 95 %（結露しないこと）

最大振動（ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用するとき）：

動作時	0.9 GRMS
保管時	1.3 GRMS

最大衝撃（ヘッド固定位置のハードドライブと 2 ミリ秒の正弦半波パルスを使用して測定したとき）：

動作時	122 G
保管時	163 G

高度（最大）：

動作時	-15.2 ~ 3,048 m
保管時	-15.2 ~ 10,668 m

## セットアップユーティリティの使い方

### 概要




**メモ：**セットアップユーティリティにおける使用可能なオプションのほとんどは、オペレーティングシステムによって自動的に設定され、ご自身がセットアップユーティリティで設定したオプションを無効にします。（**External Hot Key** オプションは例外で、セットアップユーティリティからのみ有効または無効に設定できます。）オペレーティングシステムの設定機能の詳細については、ヘルプとサポートセンターを参照してください。

セットアップユーティリティ画面では、以下のような現在のコンピュータのセットアップ情報や設定が表示されます。

- システム設定
- 起動順序
- 起動する（スタートアップ）設定


- 基本デバイス構成の設定
- システムセキュリティおよびハードドライブのパスワード設定

 **注意**：熟練したコンピュータのユーザーであるか、またはデルテクニカルサポートから指示された場合を除き、セットアップユーティリティプログラムの設定を変更しないでください。設定を間違えるとコンピュータが正常に動作しなくなる可能性があります。

## セットアップユーティリティ画面の表示

- 1 コンピュータの電源を入れます（または再起動します）。
- 2 DELL™ のロゴが表示されたらすぐに <F2> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。

## セットアップユーティリティ画面

 **メモ**：セットアップユーティリティ画面上の特定のオプションの情報を参照するには、そのオプションをハイライト表示して、画面の **Help** 領域を参照してください。

各画面で、セットアップユーティリティのオプションは左側に表示されます。各オプションの右側には、オプションの設定またはオプションの数値が表示されています。画面の明るい色で表示されているオプションの設定は、変更することができます。コンピュータで自動設定され、変更できないオプションは、明るさを抑えた色で表示されています。


各画面の右上隅のボックスには現在ハイライト表示されているオプションのヘルプ情報が表示されます。画面の下部には、セットアップユーティリティで使用できるキーの機能が表示されています。システムセットアップの最初の画面は、システム情報を表示します。

## 通常使用するオプション

変更すると、新しい設定を有効にするためにコンピュータを再起動する必要があります。

## 起動順序の変更

起動順序は、オペレーティングシステムを起動するのに必要なソフトウェアがどこにあるかをコンピュータに知らせます。セットアップユーティリティの **Boot Order** ページを使って、起動順序を管理し、デバイスを有効または無効にできます。

 **メモ**：一回のみ起動順序を変更するには、94 ページの「一回きりの起動の実行」を参照してください。

**Boot Order** ページでは、お使いのコンピュータに搭載されている起動可能なデバイスの全般的なリストが表示されます。以下のような項目がありますが、これ以外の項目が表示されることもあります。

- **USB FDD**
- **USB メモリ**
- **IDE HDD**
- **USB HDD**
- **IDE CDROM**
- **PCI LAN**

起動ルーチン中に、コンピュータは有効なデバイスをリストの先頭からスキャンし、オペレーティングシステムのスタートアップファイルを検索します。コンピュータがファイルを検出すると、検索を終了してオペレーティングシステムを起動します。

起動するデバイスの順番を変更するには、次の手順を実行します。

- 1 上下矢印キーを押して、デバイスを選択（ハイライト表示）します。
- 2 + キーまたは - キーを押して、選択リストを上下にスクロールします。

新しい起動順序は、変更を保存し、セットアップユーティリティを終了するとすぐに有効になります。

### 一回きりの起動の実行

セットアップユーティリティを起動せずに、一回だけの起動順序が設定できます。（ハードドライブ上の診断ユーティリティパーティションにある **Dell Diagnostics**（診断）プログラムを起動するためにこの手順を使うこともできます。）

- 1 **スタート** メニューから、コンピュータをシャットダウンします。
- 2 コンピュータをコンセントに接続します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。DELL のロゴが表示されたらすぐに <F12> を押します。ここで時間をおきすぎて Windows のロゴが表示されたら、Windows のデスクトップが表示されるまで待ちます。次に、コンピュータをシャットダウンして、もう一度やり直します。
- 4 起動デバイス一覧が表示された場合は、起動したいデバイスをハイライト表示して、<Enter> を押します。

コンピュータは選択されたデバイスを起動します。

次回コンピュータを再起動するときは、以前の起動順序に戻ります。

## デルへのお問い合わせ

インターネット上でのデルへのアクセスは、次のアドレスをご利用ください。

- [www.dell.com/jp](http://www.dell.com/jp)
- [support.jp.dell.com](http://support.jp.dell.com)（テクニカルサポート）

**メモ：**フリーコールは、サービスを提供している国内でのみご利用になれます。

デルへお問い合わせになる場合は、次の表の電子アドレス、電話番号、およびコードをご利用ください。国際電話のかけ方に関しては、国内または国際電話会社にお問い合わせください。

国（市） 国際電話アクセスコード 国番号市外局番	部署名またはサービス地域、 ウェブサイトおよび E-メールアドレス	市内番号 フリーコール
<b>日本（川崎）</b>	ウェブサイト： <a href="http://support.jp.dell.com">support.jp.dell.com</a>	
国際電話アクセスコード： <b>001</b>	テクニカルサポート（Dimension™ および Inspiron™）	フリーコール：0120-198-226
国番号： <b>81</b>		
市外局番： <b>44</b>	日本国外のテクニカルサポート（Dimension および Inspiron）	81-44-520-1435
	Fax 情報サービス	044-556-3490
	24 時間納期情報案内サービス	044-556-3801
	カスタマーケア	044-556-4240
	ビジネスセールス本部（従業員数 400 人未満）	044-556-1465
	法人営業本部（従業員数 400 人以上）	044-556-3433
	エンタープライズ営業本部（従業員数 3500 人以上）	044-556-3430
	官公庁 / 研究・教育機関 / 医療機関セールス	044-556-1469
	デルグローバルジャパン	044-556-3469
	個人のお客様	044-556-1760
	代表	044-556-4300





# 索引

## C

### CD

オペレーティングシステム, 12  
使用, 33

### CD ドライブ

モジュールベイを参照  
問題, 61

### CD のコピー

手順, 33  
便利なヒント, 34  
一般情報, 33

### CD-RW ドライブ

問題, 61

## D

### Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 51

### 『Drivers and Utilities CD』,

9, 55

### DVD

使用, 33

### DVD ドライブ

モジュールベイを参照  
問題, 61

### DVD のコピー

手順, 33  
便利なヒント, 34  
一般情報, 33

## I

### IEEE 1394 コネクタ

システム表示, 14  
解説, 14  
問題, 65

### IRQ コンフリクト, 56

## M

### Microsoft Windows ラベル,

11

## P

### PC カード

カードバステクノロジ, 41  
拡張, 41  
スロット, 41  
タイプ, 41  
ダミーカード, 41  
取り付け, 43  
取り外し, 41  
ワイヤレスネットワーク  
アダプタ, 41

### PC カードスロット

システム表示, 17  
解説, 17

## R

### RAM。メモリを参照

### 『ResourceCD』

Dell 診断プログラム, 51

## S

### S ビデオ TV 出力コネクタ

システム表示, 19  
解説, 19

### SD メモリカードスロット

説明, 17

## U

### UPS, 24

### USB コネクタ

システム表示, 17  
解説, 17

## W

### Windows XP

再インストール, 58  
システムの復元, 56  
デバイスドライバのロール  
バック, 55  
テレビの表示設定の有効化, 36  
ハードウェアに関するトラブル  
シューティング, 56  
ファイルと設定の転送  
ウィザード, 22  
プログラム互換性ウィザード,  
67  
ヘルプとサポートセンター, 11

## あ

安全にお使いいただくために、  
10

## い

インターネット接続  
オプション、21  
セットアップ、21  
説明、21

## う

ウィザード  
ファイルと設定の転送  
ウィザード、22  
プログラム互換性ウィザード、  
67

## え

エラーメッセージ、62-63

## お

オーディオコネクタ  
システム表示、14  
解説、14  
オーディオデバイス  
接続、35  
オーディオ。サウンドを参照  
オプティカルドライブ。  
モジュールベイを参照  
オペレーティングシステム  
CD、12  
Windows XP の  
再インストール、58  
インストールガイド、12  
音量  
調節、72

## か

カードバステクノロジー  
PC カード、41  
拡張スロット  
SD メモリカードスロット、17  
画面、74

## き

キーパッド  
数字、37  
テンキーパッド、37  
キーボード  
システム表示、14  
ショートカット、38  
解説、14  
問題、65  
起動順序、93

## こ

コンピュータ  
応答しない、66  
クラッシュ、66-67  
仕様、87  
パフォーマンスの低下、63、68  
元の状態への復元、56  
コンフリクト  
ソフトウェアとハードウェアの  
非互換性、56

## さ

サービスタグ、11  
再インストール  
『Drivers and Utilities CD』、  
9  
ResourceCD、9  
Windows XP、58  
サウンド

音量、72  
問題、72

サポート  
デルへのお問い合わせ、94

## し

システムの復元、56  
システム表示  
左側面、16  
右側面、18  
正面図、13  
底面、20  
仕様、87  
情報の検索マニュアル、9  
情報を新しいコンピュータに  
転送する、22  
診断  
Dell、51  
『Drivers and Utilities CD』、  
9

## す

スキャナー  
問題、71  
スパイウェア、63、68  
スピーカー  
システム表示、13  
音量、72  
解説、13  
問題、72

## せ

セキュリティケーブルスロット  
システム表示, 16  
解説, 16

### 接続

オーディオデバイス, 35

### 接続する

テレビ, 35

セットアップ図, 10

セットアップユーティリティ

表示, 93

目的, 92

画面, 93

通常使用するオプション, 93

説明, 39

## そ

ソフトウェア

問題, 67

## た

タッチパッド, 39

カスタマイズ, 40

システム表示, 14

解説, 14

ダミーカード

PCカード, 41

取り外し, 41

## つ

通気孔

システム表示, 20

解説, 20

## て

ディスクのチェック, 62

ディスプレイ

システム表示, 13

解説, 13

ディスプレイラッチボタン

システム表示, 13

解説, 13

ディスプレイ。モニターを参照

デバイスステータスライト

システム表示, 15

解説, 15

デバイスリリースラッチ

システム表示, 20

解説, 20

デル

お問い合わせ, 94

サポートサイト, 11

テレビ

Windows XP での表示設定の  
有効化, 36

接続, 35

テレビの表示設定

Windows XP での有効化, 36

電源

UPS, 24

サージプロテクタ, 24

保護装置, 24

ラインコンディショナ, 24

問題, 69

電源ボタン

システム表示, 13

解説, 13

電源ライト

状態, 69

## と

ドライバ

ResourceCD, 9

再インストール, 54

識別, 54

説明, 54

ドライブ

問題, 60

トラブルシューティング

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 51

コンフリクト, 56

外付けのキーボードの問題, 65

ハードウェアに関するトラブル

シューティング, 56

ヘルプとサポートセンター, 11

元の状態への復元, 56

## ね

ネットワーク

セットアップ, 45

問題, 68

ネットワークコネクタ

システム表示, 18

解説, 18

## は

ハードウェア

Dell Diagnostics (診断)

プログラム, 51

ハードウェアに関するトラブル

シューティング, 56

ハードドライブ

システム表示, 20

解説, 20

問題, 62

排気口

システム表示, 16

解説, 16

バッテリー  
システム表示, 20  
充電, 28  
充電チェック, 28  
性能, 27  
電源メーター, 28  
取り付け, 29  
取り外し, 29  
バッテリーの低下を知らせる  
警告, 28  
保管, 29  
解説, 20

## ひ

ビデオ  
問題, 74  
ビデオコネクタ  
システム表示, 17  
解説, 17

## ふ

ファイルと設定の転送  
ウィザード, 22  
ファン  
システム表示, 16  
解説, 16  
部品の取り付け  
コンピュータの電源を切る, 77  
はじめに, 77  
奨励するツール, 77  
プリンタ  
USB, 24  
ケーブル, 23  
プリンタの接続  
セットアップ, 23  
問題, 70  
プログラム  
プログラムの応答が停止した,  
66

## へ

ヘルプとサポートセンター, 11  
ヘルプファイル, 10

## ほ

保証, 10

## ま

マニュアル  
ResourceCD, 9  
オンライン, 11  
システム情報ガイド, 10  
セットアップ図, 10  
デバイス, 9  
ヘルプファイル, 10  
『オーナーズマニュアル』, 9

## み

ミニ PCI カード  
取り付け, 82  
ミニ PCI カードおよびモデム  
カバー  
システム表示, 20  
解説, 20

## む

無停電電源装置, 24

## め

メッセージ  
エラー, 62-63  
メモリ  
取り外し, 79  
増設, 79

メモリモジュールカバー  
システム表示, 20  
解説, 20

## も

モジュールベイ  
コンピュータが実行中の場合の  
デバイスの交換, 32  
コンピュータが停止中の場合の  
デバイスの交換, 31  
システム表示, 18, 20  
説明, 31  
解説, 18, 20

モデム  
増設, 81

モデムコネクタ  
システム表示, 18  
解説, 18

モニター  
問題, 74

## 問題

CD ドライブ, 61  
Dell Diagnostics (診断)  
プログラム, 51  
DVD ドライブ, 61  
IEEE 1394 コネクタ, 65  
エラーメッセージ, 62-63  
キーボード, 65  
コンピュータが起動しない, 66  
コンピュータクラッシュ, 66  
コンピュータの応答が  
停止した, 66  
コンピュータのクラッシュ, 67  
コンピュータパフォーマンスの  
低下, 63, 68  
サウンドおよびスピーカー, 72  
スキャナー, 71  
スパイウェア, 63, 68  
スピーカー, 72  
ソフトウェア, 66-67  
電源, 69  
電源ライトの状態, 69

- ドライブ, 60
- ネットワーク, 68
- ハードドライブ, 62
- ビデオおよびモニター, 74
- プリンタ, 70
- ブルースクリーン, 67
- プログラムおよび Windows の  
互換性, 67
- プログラムのクラッシュ, 67
- ロックアップ, 66
- 元の状態への復元, 56

## ら

- ラベル
  - Microsoft Windows, 11
  - サービスタグ, 11

## わ

- ワイヤレスネットワーク
  - セキュリティ設定の変更, 48
  - 接続, 47
  - タイプ, 46
- ワイヤレスネットワーク
  - アダプタ
    - PC カード, 41

